

Secretary ----- Haru Ishikawa, Kanuma
Branch of Teikoku Hemp
Mfg. Labor Union

(e) Lecture on New Civil Code ----- by
Chief of Utsunomiya Summary Court

(f) Magic Lantern Show:
"Till the Selection of Kimiko as Executive
Committeeman"

(g) Closing

(3) Promotion of labor union activities and enforcement of
travelling guidance
"Making use of luncheon recess or hours after work over,
the union activities for women will be promoted."

Main items

- a. Present status of labor union, particularly of
women's union activity
- b. Meaning of labor union
- c. In labor union activity
- d. Paper picture show "Labor union and Miss Toki"

| <u>Name of Labor Union</u> | <u>Location</u> |
|--|------------------------------|
| Yoshizawa Line Industry Co. L.U. | Kuzu-machi, Aso-gun |
| Tochigi Hemp Industry Co. L.U. | Fukiage-mura, Shimotsuga-gun |
| Fuji Electric Furnace Industry Co. Mamada Plant L. U. | Mamada-machi, Shimotsuga-gun |
| Keisan & Co. Nogi Plant L.U. | Nogi-mura, Shimotsuga-gun |
| Kokoku Chemical Co. Ashikaga Plant L.U. | Ashikaga City |
| Minowa Industrial Yugen Kaisha L.U. | Ashikaga City |
| Nikko Mine Labor Union Branch | Tamaya-mura, Shiotsuga-gun |
| Akita Lumber Co. Yaite Plant L.U. | Yaite-machi, Shiotsuga-gun |
| Teiko Electric Machine Mfg. Co. Yaite Plant L. U. | Sano City |

| <u>Name of workshops</u> | <u>Location</u> |
|----------------------------------|---------------------------|
| Joshu Weaving Co. Ashikaga Plant | Ashikaga City |
| Tokyo Spinning Co. | Yasabe-mura, Ashikaga-gun |

(4) Distribution of materials for union activity promotion.

a. Wall-newspapers 435 sheets

"Labor Union Can't Be Neglected By You."

| | |
|------------------------------------|-----|
| Labor Relations Committee | 2 |
| City, Town and Village Association | 2 |
| Prof. Labor Administration Section | 5 |
| Prof. Labor Administration Offices | 18 |
| Labor Standard Bureau | 3 |
| Labor Standard Inspection Office | 8 |
| Thriving streets | 40 |
| Workshops and labor unions | 357 |

b. Leaflets 530 copies

"You Will Be Protected By Labor Union"

| | |
|------------------------------------|-----|
| Labor Relations Committee | 2 |
| City, Town and Village Association | 2 |
| Prof. Labor Administration Section | 5 |
| Prof. Labor Adm. Offices | 18 |
| Labor Standard Bureau | 20 |
| Labor Standard Inspection Office | 32 |
| Workshops and labor unions | 501 |

c. Leaflets 580 copies

"Let's Enjoy Recreation In Union Activities"
Distributed to workshops and labor unions

d. Books 24 copies

"Voices Of Working Women"
Distributed to labor unions having many women workers.

e. Books 69 copies

"For Sake Of Women's Position"
Distributed to workshops and labor unions

f. Magic lantern slide 4 sheets

"How Miss Kimi Was Elected Executive Committee Man"
Loaned to Prof. Labor administration Offices
Utsunomiya, Ashikaga, Sano

III. Others

1. Inspection over local staff rooms

By Chester Peck, Staff of Labor Division, K.C.A.R.

- a. Date: Sept. 18 11-12 a.m.
- b. Place: Tohigi Labor Standard Bureau
Chief's room
- c. Items: Activity status by staffs
Particulars desired to the staff room

楊婦第九六號

昭和二十五年九月二十五日

労働省婦人少年局 栃木職員室主任

連合軍関東民事部 部長殿

婦人少年局 栃木職員室 月間活動報告

自 昭和二十五年八月二十日

至 昭和二十五年九月二十日

一、調査、啓蒙、教育に関する活動状況

1. 中学校における校外実習と証明書制度の適用について

調査事項

(1) 学校側あるいは事業主から本件適用について監督署に

相談に来た事例

宇都宮労働基準監督署

高沼 労働基準監督署

婦人少年局 栃木職員室

今市 労働基準監督署

(2) 通牒実施上の監督官の感想

(3) 従来校外長期実習を行っていた学校、又は現在

行っている学校長、及びその引受先である主たる



調査事項

① 学校側あるいは事業主から本件 適用について 監督署に相談に来た事例 三件

宇都宮労働基準監督署 一
鹿沼 労働基準監督署 一

婦人少年局栃木職員室

今市 労働基準監督署 一

(2) 通牒実施上の監督官の感想

(3) 従来校外長期実習を行っていた学校、又は現在行っている学校長、及びその引受先である主たる事業主に対して、左の二項の調査

イ 証明書制度を適用したため、実習の上にもたらした長短と影響について

ロ その他感想

右の調査期間 九月三十日迄

二 組合活動において婦人組合員の正しい役割を果すことの促進に関する事項

イ 女子の組合活動促進運動実施

(1) 女子の組合活動促進懇談会開催

イ 場所 足利市信用組合会議室

—4— —3—

日時 八月二十四日 一三時——一六時

出席者 組合指導者 男女 二十五名

ハ. 議題

① 存せ女子の組合活動はふるはるいか。

② 女子を積極的に組合活動に参加させる方法。

ニ. 紙芝居

組合とお時さん

動物農場

② 組合指導者會議開催

イ 場所 宇都宮市旭町 栃木縣婦人会館

日時 九月五日 一三時——一六時半

出席者 合計 五十八名

組合指導者 男女 四六名

官庁側 その他 一二名

婦人少年局栃木職員室

宇都宮労政事務所 六名

宇都宮家庭裁判所 二名

栃木職員室 二名

新聞記者 二名

ハ. 議題

① 存せ女子の組合活動はふるはるいか。

日時 八月二十四日 一三時——一六時

出席者 組合指導者 男女 二十五名

ハ 議題

① 存せ女子の組合活動はふるはるいか。

② 女子を積極的に組合活動に参加させる方法。

ニ 紙芝居

組合とお時さん

動物農場

③ 組合指導者會議開催

イ 場所 宇都宮市旭町 栃木縣婦人会館

日時 九月五日 一三時——一六時半

出席者 合計 五十八名

組合指導者 男女 四六名

官庁側 その他 一二名

婦人少年局栃木職員室

宇都宮労政事務所 六名

宇都宮家庭裁判所 二名

栃木職員室 二名

新聞記者 二名

ハ 議題

④ 存せ女子の組合活動はふるはるいか。

日時 九月五日 一三時 — 一六時半

出席者 合計 五十八名

組合指導者 男女 四十六名

官庁側 その他 一二名

婦人少年局 栃木職員室

宇都宮労政事務所

六名

宇都宮家庭裁判所

二名

栃木職員室

二名

新聞記者

二名

ハ 議題

① 在りて女子の組合活動はふるはるいか。

② 女子を積極的に組合活動に参加させる方法

ニ 順序

① 開會

② 目的説明

③ 労働組合の活動について 宇都宮労政事務所長

④ 會議

議長 宇都宮官車新株株式会社

安西ヨシ子

書記 宇都宮労働組合

石川ハル

帝國製麻労働組合

鹿沼支部

-6-

-5-

⑤ 新民法講演
 京都官家庭裁判所事務局長

⑥ 幻燈
 君子さんが執行委員にキリキリ選ばれるまで

⑦ 同會

(3) 組合活動促進巡迴指導実施

「各休み、又は終業後の時間を利用し、女子を
 対象とし組合活動の促進をはかる。」

要項

1. 労働組合の現況

特に女子の活動状況

上. 労働組合の意義

ハ. 労働組合の活動について

ニ. 紙芝居

組合とお時さん

婦人少年局栃木職員室

(組合名称)

(所在地)

① 吉澤石灰工業株式会社労働組合

安蘇郡 高生町

② 栃木麻工業株式会社

下都賀郡 吹上村

③ 富士電機工業間之日工場

下都賀郡 間之日町

④ 京三製作所 野木工場

下都賀郡 野木村

⑤ 興國山子

1. 労働組合の現況

特に女子の活動状況

2. 労働組合の意義

3. 労働組合の活動について

4. 紙芝居

組合とお時さん

婦人少年局栃木職員室

(組合名称)

(所在地)

- ① 吉澤石灰工業株式会社労働組合 安蘇郡 葛生町
 - ② 栃木麻工株式会社 " 下都賀郡 吹上村
 - ③ 富士電機工業問合工場 従業員組合 下都賀郡 問合町
 - ④ 京三製作所 野木工場 労働組合 下都賀郡 野木村
 - ⑤ 興國化学 足利工場 " 足利市
 - ⑥ 箕輪工業有限公司 従業員組合 足利市
 - ⑦ 日光 銅山労働組合支部 塩谷郡 天頂山
 - ⑧ 秋木 矢板木材労働組合 那須郡 矢板町
 - ⑨ 大興電気製作所 矢板工場労働組合 那須郡 矢板町
 - ⑩ 日本ナリヤス労働組合 佐野支部 佐野市
- (事業場名称)
- ⑪ 上州織物株式会社足利工場 足利市
 - ⑫ 東京紡績株式会社 足利郡 山辺村

労働組合活動促進資料配布状況

1. 更新開

「あはたには労働組合が必要です」

四三五枚

労働委員会

二枚

市町村会

二枚

県労政課

五枚

労政事務所

一八枚

労働基準局

三枚

労働基準監督署

八枚

繁華街

四〇枚

事業場又は労働組合

三五七枚

只 リーフレット

五八〇枚

「労働組合はあはたをまもりまします」

労働委員会

二枚

婦人少年局栃木職員室

市町村会

二枚

県労政課

五枚

労政事務所

一八枚

労働基準局

二〇枚

労働基準監督署

三二枚

事業場又は労働組合

五〇一枚

— 8 —

— 7 —

組合活動促進次頁料配布状況
 1. 壁新聞 四三五枚

「あはたには労働組合が必要です」

労働委員会 二枚

市町村会 二枚

縣労政課 五枚

労政事務所 一八枚

労働基準局 三枚

労働基準監督署 八枚

繁華街 四〇枚

事業場又は労働組合 三五七枚

リフレット 五八〇枚

「労働組合はあはたをまもりまします」

労働委員会 二枚

婦人少年局栃木職員室

市町村会 二枚

縣労政課 五枚

労政事務所 一八枚

労働基準局 二〇枚

労働基準監督署 三二枚

事業場又は労働組合 五〇一枚

| | | | | |
|------|------------------|-----|------------------------|------|
| 労働基準 | 事業場又は労働組合 | 三五七 | リリーフレット | 五八〇枚 |
| | 労働組合はあなをまもりまします! | | 労働年員会 | 二枚 |
| | | | 婦人少年局栃木職員室 | |
| | | | 市町村会 | 二枚 |
| | | | 縣労政課 | 五 |
| | | | 労政事務所 | 一八 |
| | | | 労働基準局 | 二〇 |
| | | | 労働基準監督署 | 三二 |
| | | | 事業場又は労働組合 | 五〇一 |
| | | | ハリフレット | 五八〇枚 |
| | | | 組合活動にレクリエーションをいかしませよう! | |
| | | | 事業場又は労働組合 | 五八〇枚 |
| | | | 働く婦人の声 | 二四部 |
| | | | 女子の多い労働組合へ配布! | |
| | | | 婦人の地位のために | 六九部 |
| | | | 事業場又は労働組合へ配布 | |
| | | | 幻燈スライド | 四本 |

キミ子さんの執行委員に選ばれたまで
労政事務所 山賀興

三、その他関係事項

宇都宮 足利 佐野

一、地方転員室視察

関東民事部 労務課員 木暮一 ピック氏

イ、日時 九月十八日 一時—二時

ロ、場所 栃木労務基準局局長室

ハ、要項

① 転員室の活動状況

② 転員室の要望事項について

婦人少年局栃木職員室

栃基秘第九六號

昭和二十五年九月二十七日

關東地區民事部長 殿

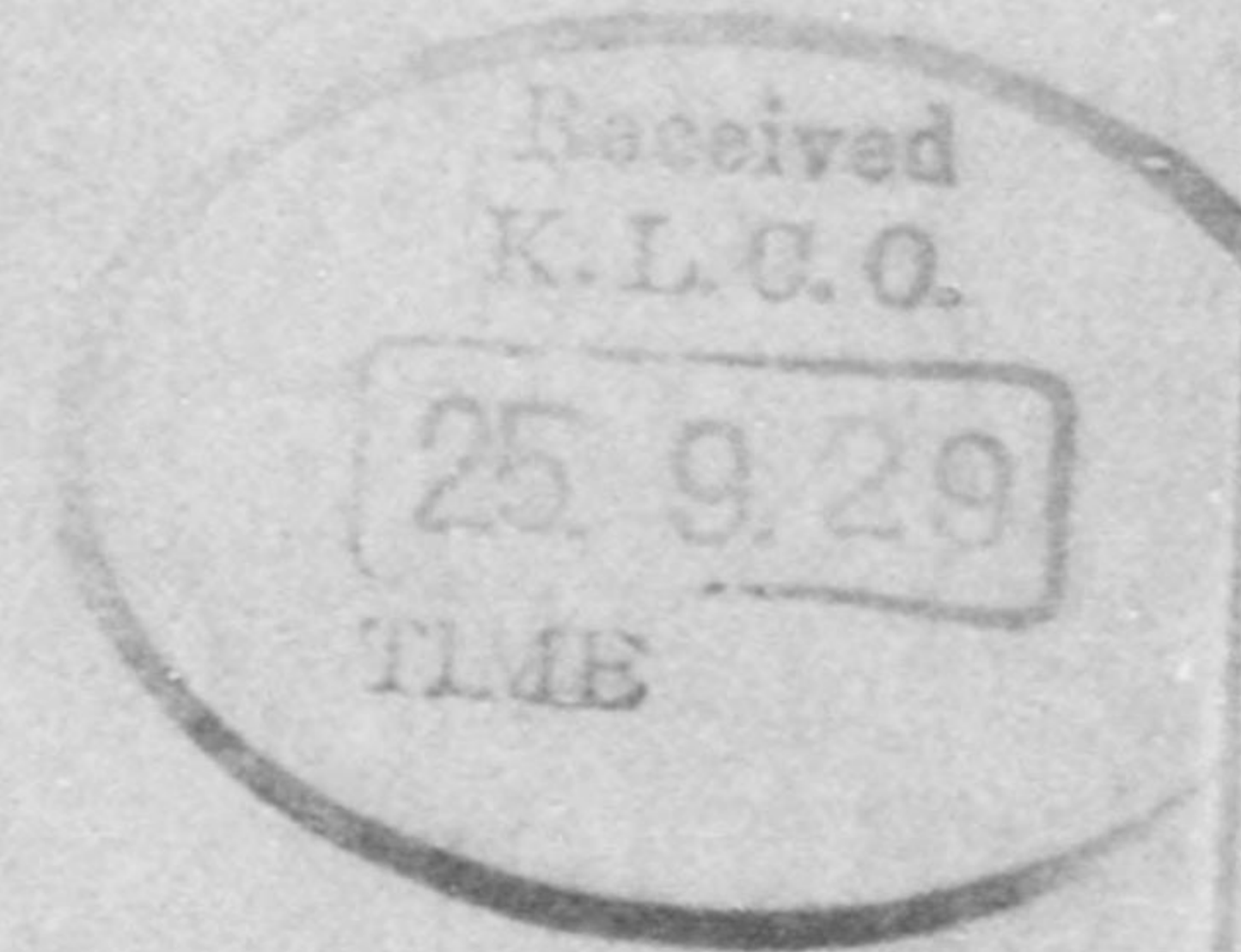
標記について 栃木労働基準局活動一月報の提出について
添付書類 九月分別紙の通り提出する。

栃木労働基準局活動月報

栃木労働基準局長

古崎 和

(英文文部三部)



栃木労働基準局活動月報

4 行政運営上の問題

(1) 予算について

予算の運営については特に慎重を期し極力節約と規正とにより現在業務に支障なきを期しているが旅費、超過勤務手當等に於て前年同期に比し相當の減額を見たるため當局本來の業務を施行する上に尠なからぬ支障を來たしている事は否めない。

向通信費等に於ても旅費の減額により使用度は加重されつゝあるが既配賦予算僅少なるため、如何にして打開すべきかに関心して居る状況である。

(2) 定員について

前報報告せる通りであつて特記事項はない。

(3) 其の他

特記事項はない。

2 管下各監督者の業務効果

(1) 本年九月一日は労基法及び労災保険法施行三週年記念日に當つていたので、當局としてはこれが記念日を期し、本法の徹底運

営を更に向上せしめる目的をもつて局、署一体となり、管下各

内 具 の 他

特記事項はない。

2 管下各監督者の業務効果

(1) 本年九月一日は労基法及び労災保険法施行三週年記念日に當つているので、當局としてはこれが記念日を期し、本法の徹底遵守を更に向上せしめる目的をもつて局、署一体となり、縣下各事業場に対して一斉監督を實施し、労資双方その他各方面に極めて至大な影響を與えた。

同右の一斉監督と並行して本法の普及宣傳をはかるため、労資は勿論一般大衆に対して、街頭、肆及び各映画館において聲の宣傳（放送）を行うと共に、労資双方を対象として、管下八監督者所在地に法令相談所を開設し、その他座談會、講演會を實施した。

右の結果を見るに本法が施行されてより爾來三週年、此の間本法は最次の段階を経て労資は勿論國民大衆の末端にまで着々

しつゝあるが、我が國労働の民主化促進上、極めて甚大な好影響を與えたものと認められる。

(四) 本月における管下各監督者の監督業務實施狀況は概ね次の通りである。即ち

監督件数二〇八、その内詳は定期監督一〇二、再監督三五、特殊安全監督三八、及び労働者の申告に基づく監督件数三三であり違反事業場二〇九にして違反件数は八〇五である。

⑤ 使用者の労働基準法及びその規定に對する態度

本法の普及徹底の度に應じ、一般的にみて本法の遵守態度は良好となつて來たが、尙一部には表面上は法令を遵守せんとする態度であり、實地監督の際法違反を指摘し、その是正について確約せしめても、是正能力があるにもかかわらず完全是正をなさず、局面を糊塗せんとする使用者が見受けられる。

⑥ 労働組合の本法に對する態度

本法各條又中近時特に問題となつてゐる事項は、解雇及び賃金不拂に關するものであるが、これらの問題は、直接的に労働者の生活權の脅威となる爲、本法の普及徹底の度に應じ、各労働組合共積極的にこれが二問題についての法律上の研究、相談を行つており、

しめても、是正能力があるにもかゝらず完全是正をなさず、局面を糊塗せんとする使用者が見受けられる。

労働組合の本法に対する態度

本法各條又中近時特に問題となつてゐる事項は、解雇及び賃金不拂に關するものであるが、これらの問題は、直接的に労働者の生活糧の脅威となる爲、本法の普及徹底の度に應じ、各労組共積極的にこれが二問題についての法律上の研究、相談を行つており、特に局、署に對してなされる申告は殆んどこの二問題によつて占められてゐる。

尙分組の一部には、本法の解雇の規定が労働保護に充分でないとし、且速やかに労働の再生産を可能ならしめ幾分でも文化生活を営みうるような最低賃金を設定するよう要望してゐる。

労働基準法の徹底を期する爲に基準局が取つた

(1) 本月は本法施行三週年に當るので、九月一日を期し一齊監督を實施すると共に管下各監督署所在地目抜き通りに労働相談所を開設し、街頭、驛、図書館において聲の宣傳（放送）を實施

して法の普及徹底をはかつた。

(四) 違反件数 八〇五

(五) 検査職の協力程度

極めて協力的であり、悪質違反の送検等について密接に連
てい。

4. 強制労働及び人身売買員について

當月該當なし。

7. 資金不拂問題

(一) 資金不拂事業場数

九七

(二) (一)における対象労働者数

一、一四五

(三) 不拂資金総額

六、八二〇、五二二圓

(四) 送検数

なし

(五) 処理方法

資金不拂がある場合には、請書を作成して、速やかに支拂うよう厳
重警告せしめ、爾後再監督を實施し、速やかにその支拂狀況を確
認する。

- (1) 資金不拂事業場数 九七
- (2) (1)における対象労働者数 一、一四五
- (3) 不拂資金総額 六、八二〇、五二二圓
- (4) 送檢数 な し
- (5) 處理方法

資金不拂がある場合には、請書を作成して、速やかに支拂うよう厳重警告せしめ、爾後再監督を実施し、速やかにその支拂状況を確認する。

事業懸賞ものは、これを送檢する。

財産が差押へされ、競賣に附された事業場数 該當なし。

労働者災害補償保険事業月報

昭和25年9月分

| | | | | |
|-----------|--|-----------------|------------------------|----------------|
| 適用 事業場 | 前月末適用事業場数 4,912 | 本月中成立事業場数 99 | 本月中消滅事業場数 67 | 本月末現在 4,944 |
| 保険料 | 本月中保険料調査済額 4,335,732.21 | | 本月末累計 47,935,964.10 | |
| | 本月中保険料収入済額 6,072,290.72 | | 本月末累計 28,300,207.25 | |
| 徴収 | 保険料未納額 1,739件 1,893 件 | | | 11,635,756.25 |
| | 本月中差押処分をなしたものの 0 | | 本月末現在 0 | |
| 保険 給付 | 本月中保険金給付をなしたものの 1,215件 | | | 5,200,928,000 |
| | 保険金支拂未済のもの 752件 | | | 2,844,827,000 |

安全衛生課の活動について
本月中に於ては特記すべき事項はない。

Prof. file

Tochigi Labor Standard Bureau

Ref. No. 1,105
26 September 1950

SUBJECT: Monthly Labor Standard Bureau Activities
Report (for September 1950)

TO : Chief,
Headquarters Kanto Civil Affairs Region,
APO 201
(Attn: Labor Relations Division,
Economic Section)

Enclosed herein please find the subject report.

Kasuo, Yoshizaki
KASUO YOSHIZAKI
Chief, Tochigi Labor
Standard Bureau

KY/Rodo-Kijun-Kyoku/tt-ki

September Activities of
Tochigi Labor Standard Bureau

Tochigi Labor
Standard Bureau

1. Administrative problem.

(1) Budget

Irrespective of our utmost economization of the budget so as to be in line with adequate administration, it cannot be denied that we have been facing not a little difficulty in administering our duties solely due to pretty big cut-down of the budget this year in comparison with the corresponding period of last year especially in the budget covering trip allowances and over-time charges.

Communication, frequency of which has been augmented because of the decreased budget for the trip allowances, is another difficulty we have to tide over under the circumstances of too small amount of appropriation we can get.

(2) Personnel

There is no particular item to be reported this month: same as the last previous month.

(3) Miscellaneous: None

2. Effectiveness of local inspection offices.

(1) At a time when it fell on the third year celebration for the Labor Standard Law and the Workmen's Compensation Insurance Law, unified efforts of the Labor Standard Bureau and its Inspection Offices were made in all-round inspection for various workshops in this prefecture, giving much influence to them. The object of the inspection was to encourage their far-reaching observation toward the laws.

Along with the above inspection, we carried out the dissemination of the laws by voice on streets, in railroad stations and in movie theaters either for labor and management or for general public. In addition to the above consultation offices for laws and ordinances were set up at eight places where the inspection offices are located in this prefecture. Free talking meetings and lecture meetings were additional program which were carried out in parallel.

To sum up from the above practice, it is realized that the laws have been infiltrated not only among the labor and management, but also among general public through several processes during the three years since the enforcement,

and that the laws have been affecting a great deal to growing democratization of our labor field.

(2) The inspection business done by each inspection office during September can be specified as follows:

| | |
|--|-----|
| Number of inspection: | 208 |
| Regular inspection: | 102 |
| Repeated inspection: | 35 |
| Special safety inspection: | 38 |
| Inspection based on applications from labor: | 33 |
| Number of illegal workshops: | 209 |
| Number of illegal cases: | 805 |

3. Attitude and reactions of employers towards the Labor Standard law and its provisions.

In proportion to the growing far-reaching dissemination of the laws, observing attitude towards the law, has been improved in general, but still there were some minor cases of management who pretended to be faithful to the laws apparently, but were not actually cooperative, irrespective of their potentiality, with our warning which had been replied by their promise for betterment.

4. Attitude and reactions of the unions toward the Labor Standards Law.

Peculiar problems which has come up recently with regard to provisions of the law ~~are~~ involved in release and unpaid wages. Inasmuch as these two matters cause vital affection to the living right of laborers, each labor union brings them up more frequently in proportion to intensified degrees of dissemination of the law. They are making legal study on the points. Majority of the applications from labor unions to us are occupied by the two matters.

Some of the labor unions interpret the provisions of release in the law as not enough for protection of laborers, and moreover, they are calling for adequate minimum wages which are enough to enable them to enjoy some extent of civilized life.

5. Methods being used by the bureau to assure compliance with the Labor Standards Law, cases of violation, degree of cooperation from procurators.

(1) Taking the opportunity of the third year celebration for the law on 1 September, over-all inspection was carried out in parallel with the labor consultation offices which were set up at important points of the seat of each inspection office. Announcement on far-reaching dissemination of the law was employed on streets, at railroad stations and in movie theaters.

(2) Cases of violation: 805

(3) Degree of cooperation from procurators.

Procurators are very cooperative in prosecuting illegal cases of crooked nature.

6. Any case of forced labor or child-selling.

None

7. Matter of unpaid-wages.

(1) Number of workshops where there were unpaid cases:

97

(2) Number of laborers involved in (1): 1,145

(3) Total amount of unpaid wages: ₩6,820,522

(4) Number of prosecution: None

(5) Disposition: For the unpaid cases, we used to have their letter of promise which signs for their immediate payment. Subsequent inspection is made on their practice of the promise. Crooked cases are sent before the procurators.

(6) Number of property which has been attached and sold:

None

Workmen's Compensation Insurance Activities

September 1950

| | No. of applied workshops at the end of the last preceding month | No. of work-shops newly applied in the month | No. of work-shops abandon-ed during the month | No. of workshops as of the end of the month |
|---|---|--|---|---|
| | 4,912 | 99 | 67 | 4,944 |
| Collection of Premiums | Amount of premiums definitely assessed | | Cumulative amount as of the end of the month | |
| | ¥4,335,193.81 | | ¥49,935,964.10 | |
| | Amount of premiums collected during the month | | Cumulative amount as of the end of the month | |
| | ¥6,072,790.72 | | ¥38,300,207.85 | |
| | Amount of premiums not yet collected | | | |
| | 1,739 cases | | ¥11,635,756.25 | |
| | Property attached during the month | | Property attached as of the end of the month | |
| | 0 | | 0 | |
| Payment of INSURANCE PREMIUMS MONEY | Insurance money paid during the month | | | |
| | 1,215 cases | | ¥5,200,928.00 | |
| | Insurance money not yet paid | | | |
| | 752 cases | | ¥2,844,327.00 | |

9. Activities of the Safety Section.

None

Sib

Copy

TOCHIGI PREFECTURAL GOVERNMENT

Utsunomiya City, Tochigi prefecture.

Ref. No. 982
24 August 1950

SUBJECT: Monthly Labor Standard Bureau Activities Report (For August)

TO : Chief,
Headquarters Kanto Civil Affairs Region,
APO 201
(Attention: Labor Relations Division)

松本
土木
地
方
基
準
局
月
報

Attached herein is the report on the above subject for the month of August.

Kazuo Kazami
Kazuo Kazami
Director,
Tochigi Labor Standard Bureau.

Monthly Labor Standard Bureau
Activities Report (For August)

Tochigi Labor Standard Bureau

(1) Administrative problems:

a. Budget

As reported in the previous month, the personnel expenses and materials expenses are retrenched to a considerable extent comparing to the same period of last year, so the office business has been forced to operate with difficulty, but our endeavor in expenditure economy and strict arrangement can hardly handle the business with the slightest smooth.

As for travel expenses amount to be distributed, particularly, our effort is being made to realize the maximum result laying emphasis on important points under the carefully planned schedule, for the reason of it's giving a great effect on the business operation.

b. Personnel

The head office and inspection offices, formerly, carried out personnel change following vacancy filling-up and we, having put the right personnel in the right place, expect to handle the business smoothly. Yozo Sekiguchi, former director, who was transferred to Tokyo Labor Standard Bureau by the recent shifting of the Labor Ministry, was succeeded by Kazuo Furuzaki, director of Oita Labor Standard Bureau.

c. Others

None

(2) Effectiveness of local inspection offices.

a. Following the instruction from the competent ministry, we lay stress on three points of women and children affairs, unpaid wage affairs and safety affairs for inspection policy, and two formers have been laid under our powerful inspection since last year and as to the safety concerns, activity was begun simultaneously by each inspection offices under our jurisdiction putting up a slogan "Let's reduce accidents in workshops by 40 %" and we are obtaining the desired result positively.

b. Business carried out by each inspection offices in the jurisdiction in this month is summarized as follows.

Number of cases inspected: 487

| | | |
|----------|---------------------------------------|-----|
| Details: | Ordinary inspection | 218 |
| | Re-inspection | 193 |
| | Special safety inspection | 35 |
| | Inspection based on laborers' reports | 41 |

Number of workshops coming under violation: 226

Number of violation cases: 1,049

(3) Attitudes and reactions of employers toward the Labor Standard Law and its provisions.

Generally speaking, they seem to have been observing the law, but some cheat us without making any correction, even after they promised us to correct the illegal points which were indicated by us on actual inspection.

(4) Attitudes and reactions of the unions toward the Labor Standard Law.

Their attitudes are much cooperative. But most of them call for our help only in the case where they cannot find any way to solve complicated labor problems, instead that they constantly keep connection with us. We are giving them guidance so that we should be informed before any problems get rid out of our power.

(5) Methods being used by the bureau to assure compliance with the Labor Standard Law, cases of violation, degree of cooperation from procurators.

a. In case of finding any violation cases in periodical inspection, re-inspection is carried out without fail to assure corrections thoroughly.

b. Number of violation cases: 1,049

c. The procurators are co-operative satisfactorily and the constant connection is kept between us.

(6) Cases of forced labor and child-selling:

None

(7) Matters regarding unpaid wage.

- a. No. of workshops where wages are unpaid: 116
- b. No. of laborers for (a.) above: 1,253
- c. Total amount of unpaid wage: ¥7,092,700
- d. No. of cases sent to procurator's office: 2 (Unpaid wage)
- e. Disposition:

In case of finding unpaid wage case, we take the written oath from the employers that the total amount of unpaid wage should be paid at possible early date. After that, we confirm whether or not their promise has been carried out. Vicious cases are sent to the procurator's office.

- f. No. of workshops where properties were taken into custody and then placed on auction:

None.

- (8) Status of Workmen's Compensation Insurance Collection and disbursement of premiums, any special difficulties encountered, cases of non payment of premiums and their disposition.

Monthly Report on Workmen's
Compensation Insurance For August 1950

Number of workshops applicable

| | |
|--|-------|
| No. applicable at the end of the previous month: | 4,821 |
| No. newly applied during this month: | 263 |
| No. revoked during this month: | 112 |
| No. applicable at the end of this month: | 4,912 |

Collection of premiums:

Amount of premiums determined to be collected during this month: ¥29,929,031.17

Amount of premiums determined to be collected up to the end of this month: ¥45,500,770.29

Amount of premiums collected during this month: ¥14,368,686.98

Amount of premiums collected up to the end of this month: ¥32,227,417.13

Arrearage: 3,001 cases ¥13,373,353.16

Attachment disposal effectuated during this month:

None

Attachment disposal effectuated up to the end of this month:

None

Disbursement of Benefit

Benefit disbursed during this month:

962 cases ¥4,418,843.00

Cases not received the benefit due:

561 cases ¥2,404,177.00

(9) Activities of Safety-Section

(a) Employers' supervision on safety:

To know the effect of safety supervision, we are having, since January this year, each of the inspection offices select a few workshops to give them guidance on the safety supervision and to make them cooperate with the inspection offices in the same supervision exercise. The attached sheet (1) shows the result of this management for the period January through June, which tells the occurrence frequency of accident was decreased at every workshop except at few of them.

The attached sheet (2) shows the result of the equipment examination at those workshops where the safety-supervisors are installed for the reason of National Safety Week of this year.

(b) Attitude of the employers:

The interest of the employers about the organization and management of the safety supervision has been raised recently and they are trying for the completion of the equipments steadily, which, we think, is one result of penetration of the guidance and supervision by the inspection offices.

(c) Employer's compliance with laws:

As mentioned above, the employers are showing progress on the point of safety supervision, but the equipments condition are not satisfactory as the present economic situation does not allow them to bring forth the simultaneous and complete improvement of equipments. Our inspection and supervision conducted during June revealed the violation cases as shown below. These violation cases were given the administrative dispositions when they run badly against the regulation, and when they are trifle violations, they are instructed for improvement fixing a certain term for completion of the improvement. During the National Safety Week they are trying for repair, improvement and completion of the equipments autonomously.

Violation cases during the month of June

| | | |
|---|----|------|
| Concerning the accident prevention equipments ----- | 50 | case |
| Concerning the workshop and its annex buildings ----- | 34 | " |
| Concerning the standards of machinery and installations ----- | 8 | " |

(Contin'd)

| | |
|--|----|
| Concerning the safety education ----- | 1 |
| Concerning the selection of the safety supervisions ----- | 2 |
| TOTAL ----- | 85 |

Survey of Accident (Injury) in the Selected

Attached - (1)

| Name of workshop | Type of Industry | From Jan. 1949 to Dec. 1949 | | | | | | Mandatory absence to injury |
|--|---------------------------------|-----------------------------|--------|-------|------------------|--|----------------|-----------------------------|
| | | No. workers (As of Dec.) | | | Working men hrs. | Injuries (Exclusive of those injuries which do not need absenting from workshop) | | |
| | | Male | Female | Total | | Cases | Frequency rate | |
| Okura Seiko K.K. Tochigi Plant | Metal Ind. | 92 | 6 | 98 | 222,913 | 23 | 103.17 | |
| Furukawa Mining Ind. K.K., Ashio Seisakusho, Oyama Plant | Machines & Implement | 313 | 22 | 335 | 839,666 | 33 | 39.30 | |
| Nippon Phonograph K.K. | " | 169 | 17 | 186 | 676,726 | 21 | 31.03 | |
| Tokai Seiseku Sho K.K. | " | 115 | 10 | 125 | 263,967 | 12 | 45.38 | |
| Takasaki Boardpaper K.K. Nikko Plant | Pulp and silk reeling | 485 | 40 | 525 | 999,382 | 117 | 117.07 | 1,5 |
| Kokoku Chemical Ind. K.K. Rubber Plant | Rubber products | 179 | 180 | 359 | 860,864 | 13 | 15.10 | 7 |
| Yoshizawa Lime Ind. K.K. | Lime Ind. | 449 | 30 | 479 | 1,057,506 | (3) 101 | 95.51 | 1.52 19.77 |
| Tokiwa Mining K.K. | " | 324 | 26 | 350 | 858,432 | (2) 122 | 142.12 | 2.43 |
| Iwai Ind. K.K. Kanuma Plant | Lumber sawing & wooden products | 73 | 11 | 84 | 201,769 | 19 | 94.17 | 31 |
| Hino Lumber K.K. | " | 53 | 33 | 86 | 164,677 | 11 | 66.79 | 11 |
| Nihon Lumber Ind. K.K. Hiroiso Plant | " | 75 | 4 | 79 | 176,945 | 8 | 45.21 | 7 |
| Shimada Wooden Works K.K. | " | 59 | 5 | 64 | 156,282 | 5 | 31.99 | 9 |
| Chuguji Forestry K.K. | Forestry | 40 | - | 40 | 84,360 | (1) 14 | 165.96 | 189 |
| Tokyo Boshoku K.K. Ashikaga Plant | Weaving | 66 | 33 | 99 | 227,893 | 7 | 36.07 | 95 |
| Samba Saccarizing Y.K. | Foodstuffs Industry | 33 | 9 | 42 | 80,069 | 5 | 62.43 | 100 |
| Total | | 2,525 | 462 | 4,987 | 6,871,551 | (6) 551 | 74.36 | 7.827 |

Survey of Accident (Injury) in the Selected Workshops

| From Jan. 1949 to Dec. 1949 | | | | | | From Jan. 1950 to June 1950 | | | | | |
|-----------------------------|-------|---------------------|---|-------------------|--------------------------------------|-----------------------------|--------|-------|---------------------|---|-----|
| workers (of Dec.) | | Working man hrs. | Injuries (Exclusive of those injuries which do not need absenting from workshop) | | Mondays, absence due to injury | No. workers (As of Dec.) | | | Working man hrs. | Injuries (Exclusive of those injuries which do not need absenting from workshop) | |
| Female | Total | | Cases | Frequency rate | | Male | Female | Total | | Cases | Fre |
| 6 | 98 | 222,913 | 29 | 103.17 | 310 | 92 | 7 | 99 | 97,810 | 6 | 6 |
| 22 | 335 | 839,666 | 33 | 39.30 | 344 | 283 | 21 | 304 | 369,558 | 13 | 13 |
| 17 | 186 | 676,726 | 21 | 31.03 | 159 | 176 | 16 | 192 | 180,981 | 4 | 4 |
| 10 | 125 | 263,967 | 12 | 45.38 | 131 | 118 | 11 | 129 | 148,242 | 5 | 5 |
| 40 | 525 | 999,382 | 117 | 117.07 | 1,354 | 581 | 40 | 621 | 663,412 | 74 | 11 |
| 180 | 359 | 860,864 | 19 | 15.10 | 234 | 237 | 303 | 540 | 548,389 | 4 | 4 |
| 30 | 479 | 1,057,506 | (3) 101 | 95.51 | 1,576 1,576 | 430 | 33 | 463 | 514,528 | 50 | 9 |
| 26 | 350 | 858,432 | (2) 122 | 142.12 | 2,435 | 384 | 28 | 412 | 502,537 | 67 | 15 |
| 11 | 84 | 201,769 | 19 | 94.17 | 919 | 76 | 12 | 88 | 106,427 | 5 | 5 |
| 33 | 86 | 164,677 | 11 | 66.79 | 116 | 53 | 27 | 80 | 104,389 | 13 | 13 |
| 4 | 79 | 176,945 | 8 | 45.21 | 70 | 68 | 3 | 71 | 80,640 | 14 | 17 |
| 5 | 64 | 156,282 | 5 | 31.99 | 91 | 58 | 8 | 66 | 69,927 | 3 | 3 |
| - | 40 | 84,360 | (1) 14 | 165.96 | 489 | 66 | - | 66 | 58,080 | 8 | 13 |
| 33 | 99 | 227,893 | 7 | 36.07 | 95 | 83 | 40 | 123 | 123,597 | 6 | 4 |
| 9 | 42 | 80,069 | 5 | 62.43 | 100 | 36 | 9 | 45 | 53,612 | 1 | 1 |
| 462 | 4,987 | 6,871,551 | (6) 551 | 74.36 | 7,823 7,823 | 2,741 | 553 | 3,299 | 3,550,129 | 273 | 273 |

| Jan. 1950 to June 1950 | | | | |
|------------------------|---------------------|--|-------------------|--------------------------------------|
| Total | Working man hrs. | Injuries (Exclusive of those injuries which do not need absentsing from workshop) | | Mandays, absence due to injury |
| | | Cases | Frequency rate | |
| 99 | 97,810 | 6 | 61.34 | 44 |
| 304 | 369,558 | 13 | 35.17 | 114 |
| 192 | 180,981 | 4 | 22.10 | 44 |
| 129 | 148,242 | 5 | 33.73 | 40 |
| 621 | 669,412 | 74 | 111.34 | 1,411 |
| 540 | 548,389 | 4 | 7.30 | 86 |
| 463 | 514,528 | 50 | 97.18 | 751 761 |
| 412 | 502,537 | 67 | 133.32 | 711 |
| 88 | 106,427 | 5 | 46.98 | 49 |
| 80 | 104,389 | 13 | 124.53 | 118 |
| 71 | 80,640 | 14 | 173.61 | 44 |
| 66 | 69,927 | 3 | 42.90 | 35 |
| 66 | 58,080 | 8 | 137.74 | 176 |
| 123 | 123,597 | 6 | 48.54 | 54 |
| 45 | 53,612 | 1 | 18.65 | 19 |
| 3,299 | 3,550,129 | 273 | 76.89 | 4169 3696 |

Attached - (2)

Result of Safety Inspection

| <u>Result</u> | <u>Good</u> | <u>Poor</u> | <u>Need new in- stallation</u> | <u>Need repair</u> |
|--|-------------|-------------|--|--------------------|
| Motor and Power transmitting equipments | | | | |
| Fence around the motor | 348 | 9 | 14 | 7 |
| power intercepting | 467 | 10 | 11 | 11 |
| Cover on the power transmitting equipment | 1,013 | 8 | 43 | 11 |
| Belt wheel | 337 | 3 | 10 | 7 |
| Belt transmitting equipment | 905 | 8 | - | 9 |
| Metal fittings to join the belt | 1,319 | 55 | - | 58 |
| Signal for operation commencement | 145 | 1 | - | 2 |
| Machine and equipments | | | | |
| Power intercepting equipment | 803 | 5 | 5 | 4 |
| Cover on the dangerous parts | 330 | 11 | 24 | 11 |
| Cover on the grinder | 95 | 16 | 7 | 16 |
| Safety equipments on the saw | 19 | 4 | 2 | 6 |
| Tools | 1,729 | 234 | 14 | 90 |
| fire and explosion | | | | |
| Construction and arrangement of buildings | 85 | 3 | 1 | 5 |
| Storing the dangerous materials | 166 | 11 | - | 11 |
| Ventilation and lighting | 153 | 4 | - | 4 |
| Fire extinguishing tools | 271 | 3 | 16 | 5 |
| Passages and floor | | | | |
| Safety passages | 90 | 36 | - | 3 |
| Lighting | 1,204 | 16 | 2 | 17 |
| Floor of workshop | 81 | 39 | - | 6 |
| Arrangement of machinery | 1,674 | 35 | 6 | 28 |
| Footstool for working | 399 | 10 | 2 | 30 |
| Steps and stairs | 57 | 5 | 5 | 1 |

| <u>Result</u> | <u>Good</u> | <u>Poor</u> | <u>Need new installation</u> | <u>Need repair</u> |
|---------------------------------|---------------|-------------|------------------------------|--------------------|
| Prevention of falling | | | | |
| Fence, cover and rope | 8 | - | - | 1 |
| Ladder and slipperiness-stopper | 153 | 10 | - | 8 |
| Electric equipment | | | | |
| Danger signs | 153 | 6 | 2 | 4 |
| Fence and covers | 112 | - | 4 | 2 |
| Protectors | | | | |
| Gloves and clogs | 1,153 | 213 | 2 | 2 |
| Mask and glasses | 183 | 31 | - | 3 |
| First-aid equipment | 56 | - | - | - |
| Smoke-route and chimney | 28 | 1 | - | - |
| Disposition of oil-stained rags | 60 | 5 | 8 | 6 |
| Others | | | | |
| Attention signs | 850 | - | 54 | 3 |
| Places showing the above signs | 407 | 10 | 50 | 4 |
| TOTAL | 17,540 | 897 | 282 | 375 |

栃基秘第八八號

昭和二十五年八月二十八日

關東地區民事部長 殿

標記について 栃木労働基準局活動月報の提出について
標記について 八月分別紙の通り提出する。

添付書類

一 栃木労働基準局活動月報

(英文文部一三)

栃木労働基準局長 古崎和



栃木労働基準局活動月報

1、行政運営上の問題

(イ) 予算について

前回報告せる通り人件費・物件費共に前年同期に比し相當切詰つた予算のためこれが運用については極力節約と厳正なる規整とにより辛うじて業務に支障なきを期している。

特に旅費の配賦額については業務の運営に影響する所大なる爲慎重なる計画の下に重点主義により最大の成果を擧ぐるべく努力している。

(ロ) 定員について

さきに本局、監督者職員の缺員補充に伴う異動を實施し一應定員を充足すると共に適正なる配置により圓滑なる業務の運営を期している。

尙今次労働省の異動により前局長關口要藏は東京労働基準局に轉出し大分労働基準局長古崎和夫が後任局長として着任した。

(ハ) 其他

特記すべき事項はない。

2、管下各監督者の業務効果

(イ) 本省よりの通牒に基き、富局における監督方針の重點は女子年少者關係、資金不拂關係及び安全關係の三點にあるが、その中前二

ている。

尚今次労働省の異動により前局長關口要藏は東京労働基準局に轉出し大分労働基準局長古崎和夫が後任局長として着任した。
 (イ) 其他

特記すべき事項はない。

2、管下各監督署の業務効果

(イ) 本省よりの通牒に基き、當局における監督方針の重點は女子年少者關係、資金不拂關係及び安全關係の三點にあるが、その中前二者については、昨年より引き続き強力に監督を實施中であり、安全關係については、「職場における災害の四割減」をスローガンとして管下各監督署一齊に活動を開始し着々その成果を挙げつつある。

(ロ) 富月における管下各監督署における業務實施狀況は概ね次の通りである。

監督件數四八七その内譚は定期監督二一八再監督一九三特殊安全監督三五勞働者の申告に基き監督件數四一違反事業場二二六にして違反件數は一、〇四九である。

3、

使用者の労働基準法及びその規定に對する態度一般的に表面上は法令を遵守せんとする態度であり、従つて實地監督の際、法違反を指摘しその是正について確約せしめても完全是正をなさず局面を糊塗せんとする使用者が見受けられる。

4、労働組合の労基法に対する態度

極めて協力的であるが、常時各監督署に對して連絡する事は殆んどなく、解決困難な労働問題が惹起されその見通しがかつかないか問題かこじれて来たよりを場合に援助を求めて来る事が多い。當局としては解決容易をうちに連絡するより指導している。

5、労基法の徹底を期する爲に基準局が取つた処置その他

(イ) 定期監督の際、違反ある場合には必ず再監督を實施し違反是正の徹底を期している。

(ロ) 違反件数 一、〇四九

(ハ) 再発の協力度

極めて協力的であり密接に連絡している。

6、強制労働及び人身賣買について

富月該富なし。

7、買金不拂問題

(イ) 買金不拂事業場数 一一六

(ロ) (イ) にあける対象労働者数 一、二五三

(ハ) 不拂買金額

七、〇九二、七〇〇圓

(ニ) 送徴数

二、 (買金不拂)

(ホ) 處理方法

買金不拂がある場合には請書を發し、速やかなる時期に完全

(イ) 接續の協力度度

極めて協力的であり密接に連絡している。
6、強制労仍及び人身賣買について
富月該富をし。

7、買金不拂問題

(イ) 買金不拂事業場数 一一六
(ロ) (イ) にあける対象労仍者数 一、二五三

(ハ) 不拂買金総額

七、〇九二、七〇〇圓
二、 (買金不拂)

(ニ) 送徴数

(ホ) 處理方法

買金不拂がある場合には請書を徴し、速やかに
支拂うよう厳重誓約せしめ爾後速やかにその支拂状況を
確認する。

專案懸賞ものはこれを送徴する。

(ウ) 財産が差押へされ競賣に附された事業場数
該富をし。

労働者災害補償保険事業月報

昭和25年8月分

| 適用事業場 | 前月末適用 事業場数 | 本月中或之 事業場数 | 本月中消滅事業場数 | 本月末累計 |
|-----------|----------------|---------------|---------------|-------|
| | 402 | 203 | 112 | 4912 |
| 保険料 | 本月中保険料調定済額 | | 本月末累計 | |
| | 8,929,031.17 | | 45,600,770.29 | |
| 徴収 | 本月中保険料収入額 | | 本月末累計 | |
| | 18,368,686.98 | | 32,227,417.13 | |
| 徴収 | 保険料未納額 | | 本月末現在 | |
| | 3,001 件 | | 13373,353.16 | |
| 保険金 給付 | 本月中差押処分をなした物 | | 0 | |
| | 0 | | 0 | |
| 保険金 給付 | 本月中保険金給付をなしたもの | | 本月末現在 | |
| | 962 件 | | 4418,843.00 | |
| | 保険金支払未済のもの | | 561 件 | |
| | | | 2,404,177.00 | |

9、安全課の業務状況について

(1) 使用者の安全管理の状況

安全行政の効果把握のために本年一月から管内各監督署毎に二乃至三の特定事業場を選定してこれに安全管理指導を各監督署と協力して実施しつゝあるものであつて一月から六月までの成績を調査の結果は別表(1)の通りであつて二、三の事業を除いては災害発生率の減少を見ているものである。

本年度全国安全週間実施によつて安全管理者を選任してある事業場についての施設診断結果は別表(2)の通りである。

(2) 使用者の態度

使用者においては最近安全管理の機構および運営について一般に關心が向上し着々整備に努力していることは監督署においての監督指導の滲透によるものと思料するところである。

(3) 使用者の法規遵守程度

前記の通り使用者の安全管理の程度は向上しつゝあるが施設の整備等既存のものについては今をを經濟關係から一齊に改善に

到らず六月中臨検監督の結果左の通りの違反事實があつたが改善のものなく行政處分に附し輕易なものに對しては期間を限り改善に努力させているものであつて全国安全週間において自發的に補佐改善され整備されつゝあるものである。

に關心が向上し着々整備に努力していることは監督署において一般の監督指導の滲透によるものと思料するところである。

(2) 使用者の法規遵守程度

前記の通り使用者の安全管理の程度は向上しつつあるが施設の整備等既存のものについては今をを經濟關係から一齊に改善に

割らず六月中臨検監督の結果左の通りの違反事實があつたか悪質のものをなく行政處分に附し輕易なものに對しては期間を限り改善に努力させているものであつて全國安全週間において自發的に補佐改善され整備されつゝあるものである。

本年六月中における違反事項および件數

| | |
|------------------|-----|
| 計 | 八五件 |
| 安全管理者の選任に關するもの | 二件 |
| 安全教育に關するもの | 一件 |
| 機械器具の規格に關するもの | 八件 |
| 作業場および附屬建物に關するもの | 二四件 |
| 危害防止裝置に關するもの | 五〇件 |

特定事業場傷害状況調査

| 事業場名 | 業種 | 自昭和24年1月 至昭和24年12月 | | | | | | | 自昭和25年1月 至昭和25年6月 | | | |
|-------------|---------|--------------------|-----|-------|-----------|-------------------|--------|-------|-------------------|-----|-------|-------|
| | | 労働者数 (12月現在) | | | 労働時間数 | 傷害状況 (不休傷害を除く) | | 休業日数 | 労働者数 (6月現在) | | | 労働時間数 |
| | | 男 | 女 | 計 | | 件数 | 度数率 | | 男 | 女 | 計 | |
| 大倉製鋼株式会社 | 鋳造業 | 92 | 6 | 98 | 222,910 | 20 | 100.17 | 010 | 92 | 7 | 99 | 77 |
| 古河製鋼株式会社 | 機械器具製造業 | 210 | 22 | 232 | 809,666 | 00 | 0.00 | 044 | 200 | 21 | 221 | 206 |
| 日本蓄音器株式会社 | 同 | 169 | 17 | 186 | 676,726 | 21 | 31.03 | 159 | 176 | 16 | 192 | 170 |
| 株式会社東海製作所 | 同 | 115 | 10 | 125 | 260,967 | 12 | 45.38 | 101 | 110 | 11 | 121 | 140 |
| 高橋紙業株式会社 | パルプ及製紙業 | 485 | 40 | 525 | 999,072 | 117 | 117.07 | 1,054 | 471 | 40 | 511 | 663 |
| 興亜化学工業(株)工場 | ゴム製品業 | 179 | 10 | 189 | 860,814 | 13 | 15.10 | 204 | 227 | 203 | 540 | 541 |
| 吉沢工業株式会社 | 石灰業 | 449 | 00 | 449 | 1,057,506 | 101 | 95.51 | 1,576 | 430 | 00 | 430 | 514 |
| 常盤硝業株式会社 | 同 | 224 | 26 | 250 | 751,402 | 122 | 142.72 | 2,405 | 224 | 28 | 252 | 502 |
| 岩井工業株式会社 | 製材及木製品業 | 70 | 11 | 81 | 201,769 | 19 | 94.17 | 319 | 76 | 12 | 88 | 106 |
| 日野木材(株) | 同 | 50 | 00 | 50 | 164,177 | 11 | 66.79 | 116 | 53 | 27 | 80 | 104 |
| 日野ベニヤ工場 | 同 | 25 | 4 | 29 | 176,945 | 7 | 45.21 | 70 | 68 | 4 | 72 | 70 |
| 株式会社 島田木工業 | 同 | 59 | 5 | 64 | 156,202 | 5 | 31.99 | 91 | 50 | 8 | 58 | 69 |
| 中宮硝業株式会社 | 林業 | 40 | 1 | 41 | 94,060 | 14 | 165.96 | 439 | 66 | 1 | 67 | 50 |
| 東京紡織株式会社 | 織物業 | 66 | 00 | 66 | 227,093 | 7 | 36.07 | 95 | 70 | 10 | 80 | 120 |
| 仙波糖化工業株式会社 | 食料品業 | 00 | 9 | 09 | 80,069 | 5 | 62.43 | 100 | 06 | 9 | 15 | 53 |
| 計 | | 2,525 | 162 | 2,687 | 6,871,551 | 551 | 74.36 | 7,823 | 2,741 | 558 | 3,299 | 3,555 |

特定市場場傷害状況調査

| 昭和24年1月 至昭和24年12月 | | | | 昭和25年1月 至昭和25年6月 | | | | 備考 | | | |
|-------------------|------------------|--------|-------|------------------|-----|-------|-----------|-----|--------|-------|-----|
| 労働時間数 | 傷害状況 (不労傷者除く) | | 休業日数 | 労働者数 (6月現在) | | | 労働時間数 | | | 傷害状況 | |
| | 件数 | 度数率 | | 男 | 女 | 計 | | | | 件数 | 度数率 |
| 222,910 | 20 | 100.17 | 010 | 22 | 7 | PP | 27,810 | 6 | 61.34 | 44 | |
| 209,666 | 00 | 0.00 | 044 | 22 | 21 | 204 | 269,558 | 13 | 25.17 | 114 | |
| 676,726 | 21 | 31.03 | 159 | 176 | 16 | 192 | 1,009,881 | 4 | 22.10 | 44 | |
| 210,767 | 12 | 45.38 | 101 | 118 | 11 | 129 | 1,422,242 | 5 | 33.73 | 40 | |
| 229,072 | 117 | 117.07 | 1,054 | 521 | 40 | 561 | 663,412 | 74 | 111.24 | 1411 | |
| 260,214 | 13 | 15.10 | 234 | 227 | 203 | 430 | 542,389 | 4 | 7.30 | 86 | |
| 157,506 | 101 | 25.51 | 1,576 | 430 | 23 | 453 | 514,628 | 50 | 27.10 | 751 | |
| 251,402 | 122 | 142.72 | 2,405 | 224 | 28 | 412 | 502,537 | 67 | 133.02 | 711 | |
| 201,769 | 19 | 24.17 | 319 | 76 | 12 | 88 | 106,427 | 5 | 46.98 | 49 | |
| 164,677 | 11 | 66.79 | 116 | 53 | 27 | 80 | 104,089 | 13 | 124.53 | 118 | |
| 176,945 | 7 | 45.21 | 70 | 68 | 3 | 71 | 20,640 | 14 | 173.61 | 44 | |
| 156,282 | 5 | 31.99 | 91 | 52 | 8 | 66 | 69,927 | 3 | 42.90 | 35 | |
| 24,060 | 14 | 165.76 | 489 | 66 | 1 | 66 | 58,080 | 8 | 127.74 | 176 | |
| 227,093 | 7 | 36.07 | 95 | 70 | 10 | 80 | 123,597 | 6 | 48.54 | 54 | |
| 20,069 | 5 | 62.43 | 100 | 26 | 9 | 35 | 53,612 | 1 | 18.65 | 19 | |
| 6,271,551 | 551 | 74.36 | 7,823 | 2,741 | 558 | 3,299 | 3,550,129 | 273 | 76.99 | 3,696 | |

安全点検結果表

| 施設 | 点検結果 (件数) | | | | 修理 | 施設 | 点検結果 (件数) | | |
|------------|-----------|------|-----|----|-----|---------|-----------|--------|--|
| | 良 | 不良 | 新設 | | | | 施設 | 件数 | |
| 原動機及動力伝導装置 | 原動機の正副、負 | 448 | 0 | 14 | 7 | 通路及び作業床 | 安全道路 | | |
| | 動力遮断装置 | 467 | 10 | 11 | 11 | | 探照照明 | | |
| | 伝導装置 用、覆 | 1013 | 0 | 43 | 11 | | 作業床 | | |
| | ベルト受 | 407 | 0 | 10 | 7 | | 機械配置 | | |
| | 速帯装置 | 905 | 0 | 1 | 0 | | 作業踏台 | | |
| | ベルト継手 | 1019 | 55 | 1 | 50 | | 階段、足場 | | |
| | 運転開始合図 | 155 | 1 | 1 | 2 | | 墜落防止 | 柵目覆、腰綱 | |
| 機械及器具装置 | 動力遮断装置 | 800 | 5 | 5 | 4 | 電気装置 | 梯子、滑止 | | |
| | 危険箇所の覆 | 000 | 11 | 24 | 11 | | 危険標止 | | |
| | グラインダーの覆 | 95 | 16 | 7 | 16 | | 柵目、覆 | | |
| | 凡録の安全装置 | 19 | 4 | 2 | 0 | | 保護具 | 帽子、作業服 | |
| | 工具 | 1720 | 204 | 14 | 90 | | | 手袋、履物 | |
| 火災及爆発 | 建物構造配置 | 85 | 0 | 1 | 6 | 具 | マスク、眼鏡 | | |
| | 危険物の貯蔵 | 166 | 11 | 1 | 11 | | 救急用具 | | |
| | 通風、採光 | 50 | 4 | 1 | 4 | | 煙道、煙突 | | |
| | 消火用具 | 271 | 0 | 16 | 5 | | 浸油ボロの処理 | | |
| | | | | | その他 | 注意標掲示 | 20 | | |
| | | | | | | 全上標掲示 | 40 | | |

結果表

| 点検結果 | | 良 | 不良 | 新設 | 修理 |
|------------|----------|---------------------|-----|----|----|
| 施設 | 件数 | | | | |
| 通路及 作業床 | 安全通路 | 20 | 0 | - | 0 |
| | 探照照明 | 120 | 16 | 2 | 17 |
| | 作業床 | 21 | 0 | - | 6 |
| | 機械配置 | 167 | 0 | 6 | 28 |
| | 作業踏台 | 399 | 10 | 2 | 20 |
| | 階段、足場 | 57 | 5 | 5 | 1 |
| 墜落防止 | 柵、目、覆、腰綱 | 2 | 0 | - | 1 |
| | 梯子、滑止 | 10 10 | 10 | - | 0 |
| 電気装置 | 危険標止 | 150 | 6 | 2 | 4 |
| | 柵、目、覆 | 112 | 0 | 11 | 2 |
| 保護 具 | 帽子、作業服 | 2617 | 0 | - | - |
| | 手袋、履物 | 1153 | 213 | 2 | 2 |
| | マスク、眼鏡 | 180 | 0 | - | 6 |
| | 救急用具 | 56 | 1 | - | - |
| 煙道、煙突 | | 28 | 1 | - | - |
| 浸油ボロの処理 | | 60 | 5 | 8 | 6 |
| その他 | 注意標掲示 | 250 | 0 | 64 | 0 |
| | 台と標示筒等 | 407 | 10 | 50 | 41 |

Ref. No.
989

(2) 「進歩又は後退せる事情を添記し、労働運動、労働組合結成又は解散等における顯著な傾向」

(4) 電産労組栃木県支部

中央常任執行委員会の責任において發せられた「電産非常事態收拾に關する特別指令」に對する本県支部の動靜は八月十七日附報告の通りであるが此れがはつきり決定するのは來月初旬に
なる模様である。

次に新聞紙上に報じられている人員整理問題は近き將來に發表される模様であるがそれに対する県支部の態度は機密では決定を見ていない。

しかし八月七日の中央常任委員会における基本的態度決定により県支部は中央支持を明確にし組合員に對する不當減首については斷呼として斗い不當減首に對するスト行爲は中央の態度を信頼し全組合員が友愛と信義に立つた團結のもとに中央指令に基き實施するといふ中央集約斗争の線に臨む意向である。

なお、室井和天県支部委員長は「個人的に本部指令（特別指令）を確認した千百名の中一人でも整理された場合はストも辭さない」と語つてゐる。

支部の具体的斗争方法は整理が發表されない限り分らない。

(附) 特別指令に對する全國の状況を次に掲げて參考に供する。

| 地方本部名 | 組合員數 | 確認數 | 率(%) |
|-------|---------|---------|------|
| 九州 | 一八、八三五 | 一七、九二八 | (九三) |
| 四國 | 六、八九〇 | 六、〇〇〇 | (八八) |
| 中國 | 一一、六二二 | 一二、五一七 | (九九) |
| 關西 | 二二、八〇三 | 一三、八七六 | (六〇) |
| 北陸 | 七、五八六 | 七、四九六 | (九九) |
| 中部 | 一九、一〇二 | 一八、二八九 | (九六) |
| 關東 | 一八、七五七 | 九、三四一 | (四九) |
| 東北 | 一五、四八六 | 一五、一四八 | (九八) |
| 北海道 | 六、〇一四 | 五、九五〇 | (九九) |
| 計 | 一二八、〇九四 | 一〇六、五四五 | (八三) |

(四) 栃木県勞働組合會

八月十一日勞働會館において第二回委員會を開き去る七月十五日の第一回代議員會で時間の満

係上、審議未了となつた議案について審議した。
予算については原案通り可決、規約は一部修正可決し役員選出は予想される顔觸れが次の様に決定を見た。

- | | | | | |
|------|----|----|---|-----------|
| 委員長 | 細山 | 茂 | ① | 國鐵宇部官支部長 |
| 事務局長 | 菊地 | 志朗 | ② | 総同盟果運書記 |
| 會計監査 | 永井 | 松衛 | | 全專賣空部官支部長 |
| | 高田 | 実 | | 日光精製所勞組 |
| | 大家 | 高 | | 栃教組執行委員 |

(ハ) 栃木県特別会議では宇都宮市産業勞働会館内において左記日程及参集人員をもつて夏季市民大學を開催したが参集者の殆んどは市民生活協議会関係者及③役員であり一般市民者の傍聴は少なかつた。
六日間の日程に対し参集者は終始熱心に聴取し質疑應答等はソ録内情に添したものが多く一般聴取者に対する④のゼスチアの面もたまたま見られた。

なお講師は県内主要労組の労切運動実践者及東京より招聘した者で、
 中国研究所長、平野義太郎 民主主義科長者協会評議員 石川金之
 助等が主だつてゐる。

| 日 程 | 参集人員 |
|-------|------|
| 八月一日 | 三〇名 |
| 八月三日 | 三〇名 |
| 八月八日 | 四〇名 |
| 八月一〇日 | 三九名 |
| 八月一五日 | 四〇名 |
| 八月一七日 | 七〇名 |

(二) 八月八、九日の兩日、鹽谷郡藤原町鬼怒川温泉において第三回食糧配給公園労働組合支部代表者会議が開催されたが会議出席者七三名傍聴者六〇名で九月一日より公園切換による今後の対策を協議したが終始感談的に進行した。

(六) 八月における県内組合の設立組合数は一で設立趣旨は労働条件の確立となつてゐる。解散数は三で何れも全員の意志により解散したものである。

(2) 「労働法によりそれらの問題を解決するために用いられている方法の説明と農林省より希望された援助に対する要求等」

(4) (1)のイ、ロ、ニ、の項目に關しては状況把握の上、労働省に報告済みであり、ハ、の項目に關しては詳細に亘つて目下調査中である。

(4) 景内自由労働者の動きは別紙の通りである。

失業者の動向調(七二一—八二〇)

| 管轄 P.E.S.O. | 事件発生日 | 発生の場所 | 事件の概要 | 要求事項 | 事件名の代表者 | 参加人員 | 処置状況 | その他事項 |
|-------------|-------|-------------------------|--|---|-----------------------------------|------|---|-------|
| 鹿沼 | 7/21 | 日光町清滝 電停前 | 翌新聞掲載、その後自由労組の動きと組合の動向を掲載した。 | | 日光町自由労組 | | | |
| 宇都宮 | 7/31 | 宇都宮 P.E.S.O. 倉宮分室 | 三十一日朝七時頃倉宮分室に集合した労仍約二〇〇名。中倉宮の就労予定の一七〇名をめぐって組合長外幹部長全員就労を要求して、就労予定者に灯し紹介票の受け渡しを促すよう煽動した。 | 全員の就労をせよ | 倉宮自由労組 長 沢 仁 作 | 8 | 完全就労 この場合 | |
| 足利 | 7/31 | 足利市役所 | 五日降雨にて就労がまま、三日に因つていからと生活に支障をきたす。円會、まわりいたいと請願した。 | 連日の降雨のため、就労不能にて生活に困窮しているから生活費に一人五〇〇円貸付をしてもらいたい。 | 足利地区自由労組 組合長 沢 仁 作 町長 藤原 義典 | 26 | 社会事業費より一人に対し五〇〇円、二二名に貸付した。 (一日一円、返済するまで返す) | |
| 宇都宮 | 8/4 | 宇都宮 P.E.S.O. | 八月四日午前十一時より十二時まで宇都宮 P.E.S.O.において宇都宮自由労組組合長代表と下記の事項について、会見し天々意見の交換をした。 | 手当ての支給(長期休業手当一〇〇〇円) 差別の撤廃 就労の再の確保 就労人員の調整 | 宇都宮自由労組 組合長 半田 誠 外三名 | 4 | 全見書項について中定所長組合側の向を天々応答した | |
| 宇都宮 | 8/12 | 倉宮町役場 天栄灯籠車 業本部長宅 | 昨十二日は日曜日であるから休業中止の旨公示した。反対した。 | 日曜日の休業中止を取り消す | 倉宮自由労組 組合長 沢 仁 作 外八名 | 9 | 休業は中止する | |

| 座沼 | 座沼 | 座沼 | 中郡宮 | 中郡宮 | 足利 |
|--|---|--|--|---|--|
| 8/15 | 8/14 | 8/12 | 8/12 | 8/4 | 7/31 |
| 日光町役場 (清産支所) | 日光町役場 (清産支所) | 日光町役場 | 在宮町役場 天葉灯策事 兼本部長宅 | 中郡宮 P.E.S.O | 足利市役所 |
| 現在の積下では借金で 低賃金で物価は上昇 し生活が苦しい状態である から吾々の生活を支える ために下記の面を 出した。 | お盆をかり会員を呼びこ ましお盆を返すこととし たいと現場監督のことに あつた | 日光町天葉燈策事長に就 任の意向を野村氏以外二名 より提出し、その意向は行 方事件管理中のこと、今 回の役員会での和議の報告 により本月十二日、私と交 話し和議成立した | 明日十二日は日曜日である から休業中止の旨公表した 外反対した。 | 八月四日午前十一時より十 二時まで中郡宮 P.E.S.O において中郡宮自由労組 代表と二名の事項について 意見し天々意見の交換とし た | お盆をかり、お盆を返す という。お盆をかり、お盆 を返すという。お盆をかり、 お盆を返すという。お盆を かり、お盆を返すという。 |
| 十六日全員を呼びこ ましお盆を返すこととし たいと現場監督のことに あつた | お盆をかり十五日全 員を呼びこましお盆を返 すこととしたいと現場 監督のことにあつた | お盆をかり十五日全 員を呼びこましお盆を返 すこととしたいと現場 監督のことにあつた | 日曜日の休業中止 取り消し | 手当の支給(夏期奉 還) 10,000円 差別の撤廃 秋分の日の確保 労組委員の調整 外二名 | 労組に生計に困 窮しているから生計 を助けてほしい。お盆を かり、お盆を返すという。 |
| 日光町 自由労 組代表 | 日光町自由労 組代表 | 野村忠道 鈴木金三 江口義時 | 在宮自由労 組代表 長 決仁作 外八名 | 中郡宮自由労 組代表 半田 誠 外二名 | 日光町自由労 組代表 鈴木金三 江口義時 |
| 1 | 15 | 3 | 9 | 4 | 26 |
| 八月十六日 口頭及び 全面的に 拒否した | 拒否した | 拒否した | 休業は中止 する | 金見現場に ついて中郡 宮と組合側 の向を夫々 応答した | お盆をかり、お盆を返す という。お盆をかり、お盆 を返すという。お盆をかり、 お盆を返すという。 |

| | | |
|--|--|------------|
| | 足利 | 管轄 PESO |
| | 8/17 | 事件発 生日 |
| | 足利市失業 対策事業現 場 (足利市 若井) | 発生の場所 |
| | 足利市失業対策事業に 就中中の労働者山岸郎 外三名が作業の中断を 喧嘩して現場の秩序を乱 し作業の進捗を阻害した ため対応処置として 抗議を呈した。 | 事件の概要 |
| | | 要求事項 |
| | | 事件の 代表者 |
| | | 参加 人員 |
| | | 処置状況 |
| | | その他 事項 |

00

| 組合名 | 産業別 | 発祥年月日 | 要求事項 | 紛争組合員数 | 参加人員 | 解決結果 |
|------------------------------|------|---------|-------------------|--------|------------------------|------|
| 栃木県中央印刷工 ノ活日動車修繕工 場争議連 | 機械器具 | 昭和二四年二月 | 退職金決定の履行 | 争議 16 | 男 0 女 16 計 16 | |
| 明治工業株式会社 労働組合 | 製紙 | 昭和二四年三月 | 未拂賃金の支拂 退職金の支給 | 全 60 | 男 13 女 73 計 86 | |
| 日立製作所栃木 工場労働組合 | 機械器具 | 昭和二四年八月 | 賃金増額 人員整理反対 | 全 735 | 男 63 女 798 計 861 | 不貫徹 |
| 岡山石灰 労働組合 | 石灰製造 | 昭和二四年三月 | 労働協約の改訂 | 全 251 | 男 31 女 282 計 313 | |

(3) 「その理由を附し紛争の種類及原因 例えはその紛争は未拂賃金の為か又その紛争は既得権を維持する目的の為か」

| | | | | | |
|-----------------|-------------------|------------------------------------|-----------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 田沼木材工業労働組合 | 栃木油脂工業労働員組合 | パインミッション製造労働組合 | 一元化学工業労働組合 | 日東炭産産務労働組合 宇都宮出張所職員組合 | 大倉製鋼労働組合 労働部職員組合 |
| 製材及木製品 | 石炭製造 | ミシン製造 | 活性炭製造 | 森林 | 機械器具 |
| 発生 二五 八二五 | 発生 二五 六二五 | 発生 二五 八二五 解決 二五 八二五 | 発生 二五 八二五 | 発生 二五 六三〇 解決 二五 七二五 | 発生 二五 六二五 解決 二五 七二五 |
| 未拂買金の支拂 | 人員整理反対 労働協約の改訂 | 未拂買金の支拂 人員整理反対 | 解雇反対 | 解雇反対 | 労働協約の有効期間延長について 人員整理反対 |
| 全 | 全 | 全 | 全 | 全 | 全 |
| 56 | 64 | 847 | 11 | 4 | 95 |
| 10 | 5 | 149 | 4 | 1 | 10 |
| 68 | 69 | 996 | 15 | 5 | 105 |
| 56 | 64 | 847 | 11 | 4 | 95 |
| 10 | 5 | 149 | 4 | 1 | 10 |
| 66 | 69 | 996 | 15 | 5 | 105 |
| | | 貫徹 | | 全 | 妥協 |

領 向

| | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|------------|------------------|--|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 小西六馬真工 業 働 小 山 工 業 労 働 組 合 | 化 學 工 業 | 発 生 二 五 八 二 二 | 一 平 均 買 金 二 〇 〇 〇 円 (現 行 九 〇 〇 〇 円) | △ | 2 9 | 3 6 | 6 5 | 2 9 | 3 6 | 6 5 |
|----------------------------------|------------|------------------|--|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|

前月より引^はえの争^いは七件で内三件が当月において解決しており、当月の発生件数は四件である。

争議の原因としては賃金の未納、人員整理問題が争議の大部分であり、その他労働協約の締結をめぐる問題がある。当月発生四件の内三件がすでに争議行爲（同種罷業、怠業）を伴っており、今後予想される秋季攻勢と共に注目される。尚、注目を浴びた日立製作所の争議も、木工操においては何ら不穏な空氣は見られず三ヶ月に亘る争議もこゝに解決するに至つた。

(4) 「勞働教育方面の活動、勞働省教育計畫の進行程度、勞働組合と勞働教育係により效果的に取計られたる措置」

(一) 勞働教育方面の活動

七月二十日^四より二十六日まで三日間、県主催により小山地區に於て勞働組合員及び未組織勞働者を對象とする、勞働教育講座を開催したが、受講者毎日六十名が参集、一部使用者を交えて熱心に講し、活潑な質疑應答があつて、勞働教育上 極めて效果的な役割を果たした。

又、七月二十二日富士産業田沼、二十八日壽生苦灰石の兩工場に於て職場の勞働教育を実施したが、特に富士産業田沼工場では、企業轉換に伴う諸問題につき、勞働者に意見の不一致をもたらしている矢先でもあつたので、組合員の極めて真摯な聴講と質疑應答があつて勞働運動に對する、中正且具體的な示唆を與え、職場教育の有効性を最大限に高め得たものとして、意義深きものがあつたと考える。

視覚教育面では八月十一日大谷石材勞組の要望に應え教育映画會を開催したが、娯樂に乏しい特殊重勞働にたつさわる多岐の勞働者に慰安を兼ねた勞働教育として極めて效果的であつた。

本年度の最大の行事たる夏季勞働大學講座を八月一日より四日間、宇都宮女子高校において開

催したが県下全域より炎着をおかして参集した受験者は各日八十名に達して、終始熱心に練習し、有終の美を収めた事は、組織労働者全般が労働教育の重要性を認識して来た證左と考える。尚、引續き労働組合体育大会を八月八、九兩日県綜合グラウンドに於て開催したが、野球、卓球、排球の三種目に亘り、日頃練磨の技量を發揮して労働文化教育の本質を把握し、組合意識の昂揚に資し得たものと考えらる。

(二) 労働教育計画の推進程度

労働協約締結促進指導は既定方針に基き、労政課、労政事務所一体となり、引續き地区別、事業場別に実施しているが、これと併行して視覚による労働教育も爽涼の季節を迎えて、更に活潑に展開すべく、労使双方に對する教育映画上映日程を編成中であるが、一方は京民事務部提供の掛圖「動物農場」が主要工場事業場に配布してあり、その効果を期待している。

尚、好季節を迎え労働組合の文化面を啓蒙するため、九月九日労働組合演藝大会を、全月十日より三日間 労働藝術展覧会を、更に十月一日より一週間、労働省資料による労働展を宇都宮足利に於て開催すべく準備中である。

(三) 労働組合と労働教育係により効果的に取計はれた措置

(二) 動物農場紙芝居の実施状況

- A 栃木県労働時報八月号では、去る七月足利、佐野、宇都宮の三地區で催された労使懇談会に於て發表された労働協約をめぐる労使双方の意見と希望を分析する一方、協約推進上の問題點を、具体的に説明し、労使の道しるべとした。
- B 労働組合の要望に感じ、系統別に労働関係機關の所管事項の概要を掲載し、労働組合と政府機關との關係の密接化を圖つた。
- C 労働協約締結並に組合役員の民主的選出につき、N、H、K県民の時間を通じてスポーツ放送を行う一方これを労働時報に掲載して教育啓蒙に資した。
- A 本月の動物農場紙芝居の利用については県下全労働組合員の参加を要する体育大会、其の他行事等ありてその利用は僅少であつたが実施された主催者及聴衆の意見を綜合するに當面は一見漫漣的紙芝居の如くうかがわれるも説明内容において民主的労働組合の運営或上勞働者に對する最も参考となつて且勤養を促る點に相當多數の者より好評を拍している。
- B 勞政事務所主催による上演回数は十回、出席延人員三五〇名にして各勞政事務所の意見

C

を綜合するに、動物農場は一面は一見漫漶的紙芝居のように採られるも内容は極めて民主的を勞働組合の運営の教育上最も効果的視覚教育である。

勞働組合 主催による上演回数五回出席延人員二〇〇名にして綜合的意見は

この種の紙芝居は現に出版されている紙芝居と異つた特質を有し動物を對象としてその職場に又勞働組合の民主的運営を教養すべき上に最も効果が擧つた。

交付された動物農場は集会的、その他の産物ある期会を失せず再度に互り之が教育をなして組合員の智識の向上を圖り強いては他の組合にも啓蒙したい考へである。

(5) 「団体交渉」

A 足尾銅山労働組合では企業再建案に伴う人員整理に際し目下、経営協議会を数回に亘つて開催しているが本月末當りより同合法による交渉委員を組織し団体交渉を開始する模様である。目下の経営協議会においては別に不意な動きは見せていない。

B 労働協約締結としての団体交渉は、栃木整染労働組及び日本ゴム足利工場労働組等で行われているが、現在は労使双方穏健な態度を保持している。

(6)

「苦情處理機構、年功規定及研究計畫委員會設立の効果の程度」

△ 現在協約締結促進運動を展開中であるので目下の所界内各分組で具体的にきめられた所は殆んどないが、全日本金属労働組合栃木支部宇都宮車庫分会では新協約中に苦情處理機構の項目を上げて締結しているが効果の程度はまだ日時が立つていないので今後にもつものがあると思はれる。

00

00

(1) 就職、未就職の状況、失業保険の徴収状況
 (2) 就職、未就職の状況（日雇計数は延である）

| 區分 | 求職者数 | | 求人数 | | 就職者数 | | 未就職者数 | |
|-------|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|
| | 計 | 別 | 計 | 別 | 計 | 別 | 計 | 別 |
| | 計 | 男 | 計 | 男 | 計 | 男 | 計 | 男 |
| 常用職 | 四三一九 | 二六一六 | 一三三二 | 六〇九 | 八三三 | 四一八 | 三六八六 | 二九八 |
| 臨時及日雇 | 八三〇〇 | 六八七二 | 四四九四 | 三三〇四 | 二〇三八 | 一九三三 | 一七二七 | 一七六〇 |
| 計 | 一三〇一九 | 一〇〇八八 | 五八二六 | 九三九 | 一〇四一 | 六一五 | 五四一三 | 三九六 |

一 縣下の失業情勢をみると常用労働者で失業保険金受給者数は三九一七名（男二七三五女一八八二）あり前月よりも五五名増加した。

二失業保険金受給資格を喪失し今なお求職しているものは八一四名（男五八七女二二七）で前月よりも一五九名減少した。

三三月以上失業保険金を受けたもので今なお求職しているものは一七四

四名（男一二四〇女五〇四）で前月よりも九八名減少した。

四失業保険の適用を受けない常用求職者で一ヶ月以上就職できないうる

者一八四名（男一二二四女九六〇）で前月よりも二五名増加した。

五日応募者で月間中継続して一〇日断続して一一日以内の就職者は三七

七四名（男一二五女六四九）で前月よりも二五名増加した。

六縣内の推計額在失業者数を公共職業安定所窓口からみると一〇、四六九名

である。

七縣下における「求職の斗争」は別紙のとおりであった。

00

00

(2) 失業保険の徴収状況

A 失業保険料の徴収状況は別表のとおりで徴収率において0.063%低下した。これは室内事務のため収入官更が活羅出来なかつたからである。

B 六月分保険料を納入期限内に申告納入したものは14事業所中、15事業所 54,673円で事業所数において9%金額において12%上昇した。

C 保険金の支給は一社失業保険において実人員407名金1,078,285円で88名増加し4,584円減少し、日給労働失職保険において実人員595名6,140円で3名減少し1,430円増加した。

D 今月中に届出られた新規適用事業所は42事業所被保険者49名で廃止事業所は8事業所被保険者41名である。

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

失業保険料徴収状況

自 2 5 7 2 1.
至 2 5 8 2 0.

| 區 分 | 徴収決定済額 | 収納済額 | 収納未済額 | 収 納 率 |
|-------|----------------|----------------|--------------|-------------|
| 本 月 分 | 7,754,985.00 | 7,286,410.00 | | |
| 累 計 | 17,542,6562.31 | 16,762,2930.37 | 7,803,631.94 | % 95.557 |

備 考

累計は業務開始以降の累計額を示す。

8. 学務委員会に提出された事件の救及び種類

| 種別 | 事件名 | 処置事項 | 処理月日 | 結果 |
|----|---|---|---|--|
| 5. | 中央貨物一の澤工場 争議 新木油脂工業争議 新木油脂工業争議 一元科学争議 大倉製鋼争議 | 退職令、未拂賃金 未拂賃金、人員整理 協約締結 解雇反対 解雇反対 解雇反対 協約改訂 人員整理反対 | 八月十六日 七月二十日取 七月三十一日甲請 八月七日第一次斡旋 八月十一日甲請 八月十一日調停 八月二十日自主解決 | 未拂賃金の一部として 六萬一千円を支拂う 新重役と交渉のため 斡旋取下 未拂賃金の解決につい て次回までに目途を つける 希望退職者が予定数 を超過したため 当事者の解答につい て協議七月十九日 附不認 |
| 1. | 鍋山石灰争議 | 協約改訂 | 八月十日 第九回調停 會 | |
| 2. | 宇都宮市役所不営 業 日光町自由業組 合不営業行為 | 現 状 復 帰 同 | 七月十六日第二回 八月八日第三回 八月七日第一回 八月十二日和解 | 就業規則を守ること によつて就労の機会 を与ふる |
| 2. | 新木油脂(株)役員 組合 一元科学学術組合 | 調整手続のため 調整手続のため | 八月十日公益委員会議 | 適格と決定 |

File

TOCHIGI PREFECTURAL GOVERNMENT

Utsunomiya City, Tochigi prefecture.

Ref. No. 987
25 August 1950

SUBJECT: Monthly Labor Administration Activities Report

TO : Chief,
Headquarters Kanto Civil Affairs Region,
APO 201
(Attn: Labor Relations Division,
Economic Section)

杉木 知彦 労働部 月報

Attached is the above report for the month of August
1950.

for Chira Kamei
JUKICHI KODAIRA
Governor,
Tochigi Prefecture

JK/Rosei-ka/tr

Received
K.L.G.O.
25.8.29
TIME

- (1) Significant trends in the labor movement, in labor relations, in union organization or dissolution, with evidence of progress or retrogression.

a. Electric Industry Labor Union Tochigi Pref. Branch.

The actions taken by the prefectural branch against the Special Instruction on Management of Emergency Situation of Electric Industry Union which had been issued by the Standing Central Executive Committee under their responsibility is as mentioned in the report dtd 17 August and their attitude shall not be clarified before the beginning of next month.

The personnel cut appearing on newspapers seems to be announced in near future, against which the prefectural branch shows no decisive attitude yet.

The prefectural branch, however, has clarified their attitude of supporting the central quarters' action since the decision of fundamental attitude at a conference of the standing central executive committee on 7 August and they seem to fight resolutely against improper dismissal and their strike against the improper dismissal is scheduled to be done along the line of central intensive struggle, such as, to carry out the strike following the central quarters' instruction under the solid combination of members wholly relying upon the attitude of the central committee.

Kuzuo Muroi, chief committee of the prefectural branch says, "Personally speaking, I am ready to carry out strike even if one of 1,100 members who acknowledged the instruction of the headquarters (special instruction) were dismissed."

A concrete struggling method of the branch shall not be formed before the personnel cut is made public.

The following is the acknowledgement percentage of the special instruction in the state.

| <u>Local head quarters</u> | <u>No. of members</u> | <u>No. of members acknowledged</u> | <u>%</u> |
|----------------------------|-----------------------|------------------------------------|----------|
| Kyushu | 18,835 | 17,928 | (93) |
| Shikoku | 6,890 | 6,000 | (88) |

(Contin'd)

| <u>Local headquarters</u> | <u>No. of members</u> | <u>No. of members acknowledged</u> | <u>o/o</u> |
|---------------------------|-----------------------|--|------------|
| China | 12,621 | 12,517 | (99) |
| Kansai | 22,803 | 13,876 | (60) |
| Hokuriku | 7,586 | 7,496 | (99) |
| Chubu | 19,102 | 18,289 | (96) |
| Kanto | 18,757 | 9,341 | (49) |
| Tohoku | 15,486 | 15,148 | (98) |
| Hokkaido | 6,014 | 5,950 | (99) |
| Total | 128,094 | 106,545 | (83) |

b. Tochigi Prefecture Labor Unions Conference

The 2nd Committee Conference was held at the Labor Hall on 11 August, where the bills which were lay on the table at the 1st Delegates conference held on 15 July for reasons of hour were discussed.

The budget passed as drafted and the constitution passed with partial amendment.

The followings are managing staffs expected to be elected

| | |
|--------------------|--|
| Chief committee | Shigeru Hosoyama, Socialists and Chief of Utsunomiya Branch, National R.R. |
| Chief secretariate | Shiro Kikuchi, Socialist and secretary of the pref. federation, G.F.L.U. |
| Auditor | Matsuei Nagai, chief of Utsunomiya Branch, National Monopoly Corporation |
| " | Minoru Takada, Nikko Electric Copper Refining Co. Labor Union. |
| " | Takashi Otsuka, Executive Committee, Tochigi Pref. Teachers Union. |

c. Under the sponsorship of Tochigi Pref. C. I.O, Citizen's Summer Course was held with the attendants and on the date

below-mentioned at the Labor Hall, Utsunomiya City, but most of the auditors were persons concerned with City People Livelihood Council and Communists with very few general city people's attendance, but during the 6-day's program, the attendants were all in earnest in listening to the lectures and answers to questions centered around the subject of Russia problems, and some jestures were sometimes shown by communist-inquirers to the general auditors.

The lecturers engaged in this course are labor movement executors in primary labor unions in the prefecture, Gitaro Hirano, president of Chinese Affairs Research Institute who was called from Tokyo and Kinnosuke Ishikawa, Councillor of Democracy Scientist Society.

| <u>Date</u> | <u>Number of attendants</u> |
|-------------|-----------------------------|
| 1 Aug. | 30 |
| 2 Aug. | 30 |
| 8 Aug. | 40 |
| 10 Aug. | 39 |
| 15 Aug. | 40 |
| 17 Aug. | 70 |

d. On both days of 8 and 9 August, the 3rd Conference of Branch Representatives of Food Distribution Kodan Labor Union was held at Kinugawa Spa, Fujiwara-machi, Shioyagun, with the attendance of 70 persons and the spectators 60, where counter-measures for Kodan which is to be renewed on and from 1 September was discussed in an amicable atmosphere from beginning to end.

e. Number of unions organized in August is one, which aimed at stabilization of labor condition. Three unions were dissolved, but all at the whole members' consent.

(2) A statement of current labor problems, together with a statement of the methods being used by labor officials to solve these problems and any requests for assistance desired from Kanto Civil Affairs Region.

a. As for the above (1) a, b and d, the report was already submitted to the Ministry of Labor and c is kept now under our minute investigation.

b. The status of day-laborers in the prefecture is shown in the attached sheets.

Survey of Trends for Unemployment

| Jurisdictional PESO | Date occurred | Place occurred | Summary | Matters demanded |
|---------------------|---------------|--|--|---|
| Kanuma | 21 July | In front of Nikko-mechi, Kiyotski Electric-car stop | Published on Well-News-paper. Published the trend of the 2nd labor union under the title of "Later trends of liberal labor union" | |
| Utsunomiya | 31 July | Isolated room, Utsunomiya PESO | While recommending 170 laborers to assume posts on that day from among those of 200 who assembled, at the isolated room of Suzumenomiya PESO, at about 7:00 on 31 July, the union chief and other staff demanded over-all employment, sturring up prearranged employment to reject to accept recommendation tickets. | Over-all employment |
| Ashikaga | 31 * | Ashikaga Municipal Office | They made application for borrowing ¥500.00 per capita for their livelihood, as they are suffering from poverty owing to the successive rainy weather and could not work thereby. | Demanded to let them have borrowed ¥500.00 per capita as living funds because they are suffering in their livelihood due to successive rainy weather. |
| Utsunomiya | 4 Aug. | Utsunomiya PESO | Had an interview with the representative of Utsunomiya Liberal Labor Union, at Utsunomiya PESO from 11:00 to noon on 4 August, on the following subjects and exchanged opinions. | <ol style="list-style-type: none"> 1. Payment of advances (¥1,000.00) during unemployment 2. Abolishment of discrimination 3. Security of acquisition of labor 4. Adjustment of personnel acquisition |
| Utsunomiya | 12 Aug. | At director's residence of Headquarters of Suzumenomiya Village Office Unemployment Counter-measures | As the following day was Sunday, notified that the work would be suspended, but opposed to it. | Suspension of work on Sunday is rescinded. |

Survey of Trends for Unemployment

(From 21 July, 1950)
(To 20 August 50)

| Matters demanded | Representative's name | No. of persons participated | Disposition | Other referencial matters |
|--|--|--|--------------------------------------|---|
| Newspaper. of the 2nd the title of liberal labor | Liberal labor union, Nikko- machi | | | |
| 170 laborers that day 200 who isolated PESO, at ly, the union if demanded sturring yment to ecommendation | Jinseku Nagehama, Chief of Suzumeno- miya Liberal Labor Union. | 8 | Over-all employment is impossible | |
| on for bor- capita for they are ty owing ny weather hereby. | Demanded to let them have borrowed ¥ 500.00 per capita as living fund, because they are suffering in their livelihood due to successive rainy weather. | Ashikaga Area Liberal Labor Union and Un- employment counter-measures enterprises workers. | 26 | Loaned to 23 persons at ¥500.00 per capita from the fund of social enterprise expenditures. |
| th the re- onomiya at 11:00 to the and exchanged | 1. Payment of allow- ances (¥1,000.00 for unemployment allow- ance during Summer) 2. Abolishment of discrimination. 3. Security of acquisition of labor. 4. Adjustment of personnel acquiring labor. | Shigeru Hanada & 3 others Utsunomiya Liberal Labor Union Committee Chief. | 4 | Referring to the subject of interview, interpellation and interpretation was carried out between the Chief of PESO and the union. |
| was Sunday. rk would posed to it. | Suspension of work on Sunday is to be rescinded. | Jinseku Hama, & 8 others, Suzumomiya Liberal Labor Union Committee Chief | 9 | Work to be suspended |

| Jurisdictional PESCO | Date occurred | Place occurred | Summary | Matters demanded |
|-------------------------|------------------|--|---|---|
| Kanuma | 12 Aug. | Nikko Town Office | Improper labor action lodged claims by Chuji Nozaki & 2 others, the laborers working at Nikko-machi unemployment counter-measures enterprises were under trial, but compromise was attained on 12 Aug., through the advice of mediation of Labor Commissioners. | |
| Kanuma | 14 Aug. | Nikko Town Office (Kiyotaki Branch) | As it is the Feast of Lantern, requested the Boss-on-the spot, the whole members to be employed so as to celebrate the Feast. | <ol style="list-style-type: none"> 1. As it is the Feast of Lantern, we wish to have them celebrated the Feast by making them all employ on 15 August. 2. If the requisition of is not acceptable, pay ¥500.00 per capita for allowance of the Feast of Lantern. |
| Kanuma | 15 Aug. | Nikko Town Office (Kiyotaki Branch) | * | Let whole members acquire labor on 16 August. |
| Kanuma | 15 Aug. | Nikko Town Office (Kiyotaki Branch) | Under the present economical situation, the low base payment was left as it was, while the price of commodities is raising higher and higher, and our living standard is indeed miserable. So that taking our real situation into good consideration submitted the following proposition. | <ol style="list-style-type: none"> 1. Pay us ¥500.00 (per capita) as the allowance of the Feast of Lantern. (BON FEB) 2. Limit of labor employment to be enlarged as far as 1,000 persons. 3. To be employed even in rainy weather. 4. In case of rainy weather case it is impossible to the allowance same as work to be paid. 5. Further, the answer for No. 2 shall be made by Aug. and answer for No. 3 be made by noon 21 August. |
| Ashikaga | 17 August | Ashikaga City Unemployment Counter-measures enterprise spot (Iwai Ashikaga City) | Because of Ichiro Negishi & 2 others who are working at Ashikaga City Unemployment counter-measures enterprises made quarrel on account of the working problems and disturbed the order of the workshop, embarrassing the progress of the work, we prohibited their working as violation of the working rule. | |

| Matters demanded | Representative's name | No. of persons participated | Disposition | Other referencial matters |
|------------------|-----------------------|-----------------------------|-------------|---------------------------|
|------------------|-----------------------|-----------------------------|-------------|---------------------------|

| | | | | |
|--|--|---|-------------------------------|--|
| | Chuji Nozaki Kinya Suzuki Yoshitoki Eguchi | 3 | Acquired labor from 14 August | |
|--|--|---|-------------------------------|--|

rs.

1. As it is the Feast of Lantern, we wish to have them celebrated the Feast by making them all employed on 15 August.
2. If the requisition of (1) is not acceptable, pay us ¥500.00 per capita for the allowance of the Feast of Lantern.

| | | | | |
|--|---|----|----------|--|
| | Kinya Suzuki, Yoshitoki Eguchi, Nikko-machi Liberal Labor Union | 15 | Rejected | |
|--|---|----|----------|--|

Let whole members acquire labor on 16 August.

| | | | | |
|--|--|---|--|--|
| | Nikko-machi Democratic Federation, Labor Union | 1 | | |
|--|--|---|--|--|

1. Pay us ¥500.00 (per capita) as the allowance of the Feast of Lantern. (BOU FESTIVAL)
2. Limit of labor employment to be enlarged as far as 1,000 persons.
3. To be employed even on Sunday.
4. In case of rainy weather (in case it is impossible to work), the allowance same as working is to be paid.
5. Further, the answer for No.1 & No. 2 shall be made by noon 16 Aug. and answer for No.3 & 4 shall be made by noon 21 August.

| | | | | |
|--|---|---|---------------------------------------|--|
| | Mitsuichi Hirose, the representative Nikko-machi Liberal Labor Union. | 1 | Wholly rejected verbally on 16 August | |
|--|---|---|---------------------------------------|--|

(3) Types and trends in disputes, with statement of causes, e.g.,
Are they for the purpose of maintaining gains already achieved?

| Name of Labor Union | By industry | Date occurred Date settled | Matters requisitioned | Kind of dispute |
|--|---------------------------------|---|---|--------------------|
| Tochigi Pref. Central Truck, Ichinosewa Auto- mobile Repairing Plant, Dispute Group | Machines & implements | Occurred, 27 Dec. '49 | Fulfilment of the Rule of Retirement Allowance. | Dispute |
| Meiji Industrial Co. Ltd., Labor Union | Paper manufacturing | Occurred, 22 April, '50 | 1. Payment of back wages. 2. Payment of Retirement Allowance | " |
| Hitachi Seisakusho, Tochigi Plant, Labor Union | Machines & implements | Occurred, 4 May '50 Settled, 10 Aug., '50 | 1. Increase of wages. 2. Opposition to personnel adjustment | " |
| Nebeyama Lime Stone Labor Union | Lime Stone Mfg. | Occurred, 28 May '50 | Revision of labor agreement. | " |
| Tochigi Oil & Fat Co. Ltd. Employees Labor Union | Soap mfg. | Occurred, 7 June, '50 | 1. Payment of back wages. 2. Opposition to personnel adjustment. 3. Revision of labor agreement. | " |
| Okura Steel Manufacturing, Tochigi Plant Employees, Labor Union | Machines & implements | Occurred, 19 June, '50 Settled, 20 July, '50 | 1. Extension of effective period of labor agreement. 2. Opposition to personnel adjustment. | " |
| Nitto Agricultural & Forestry Industry Co. Ltd., Utsunomiya Branch, Employees Labor Union | Forestry | Occurred, 30 June, '50 Settled, 5 July, '50 | Opposition to dismissal | " |
| Unitary Chemical Industry, Labor Union | Active coal mfg. | Occurred, 5 August, '50 | Opposition to dismissal | " |
| Pine Sewing-Machine Mfg., Labor Union | Sewing Machine Mfg. | Occurred, 11 August, '50 Settled, 12 August, '50 | 1. Feast of Lantern Allowance (¥1,000 per capita) 2. Payment of July salary on 12th. | " |
| Tenuma Lumber Industrial Co. Ltd., Labor Union | Lumber Mfg. and wooden goods | Occurred, 15 August, '50 | 1. Opposition to dismissal. 2. Payment of back wages. | " |
| Konishi-Roku Photographic Industrial Co. Ltd., Oyama Plant Labor Union | Chemical industry | Occurred, 22 August '50 | 1. Wage on average, ¥12,000.00 (Prevailing ¥9,000.00) | " |

causes, e.g.,
already achieved?

| Dispute | Kind of dispute | No. of union members | | | No. of participants | | | Result of settlement |
|---|-----------------|----------------------|--------|-------|---------------------|--------|-------|----------------------|
| | | Male | Female | Total | Male | Female | Total | |
| requisitioned | Dispute | 15 | 0 | 16 | 16 | 0 | 16 | |
| of the Rule of Allowance. | | | | | | | | |
| of back wages. | " | 60 | 13 | 73 | 60 | 13 | 73 | |
| of Retirement Allowance | | | | | | | | |
| ement of wages. | " | 735 | 63 | 798 | 735 | 63 | 798 | Non-accomplishment |
| tion to personnel ment | | | | | | | | |
| of labor agreement. | " | 251 | 31 | 282 | 251 | 31 | 282 | |
| | | | | | | | | |
| of back wages. | " | 64 | 5 | 69 | 64 | 5 | 69 | |
| tion to personnel ment. | | | | | | | | |
| on of labor agreement. | | | | | | | | |
| on of effective | " | 95 | 10 | 105 | 95 | 10 | 105 | Compromise |
| of labor agreement. | | | | | | | | |
| tion to personnel ment. | | | | | | | | |
| to dismissal | " | 4 | 1 | 5 | 4 | 1 | 5 | " |
| | | | | | | | | |
| to dismissal | " | 11 | 4 | 15 | 11 | 4 | 15 | |
| | | | | | | | | |
| Lantern Allowance per capita) of July salary on | " | 849 | 149 | 996 | 847 | 149 | 996 | Accomplished |
| | | | | | | | | |
| tion to dismissal. | " | 56 | 10 | 66 | 56 | 10 | 66 | |
| of back wages. | | | | | | | | |
| average, ¥12,000.00 (including ¥9,000.00) | " | 29 | 36 | 65 | 29 | 36 | 65 | |

Trends.

The subsequent dispute since previous month are seven cases among which 3 cases were settled during this month, and the number of cases newly occurred during this month are four cases in all.

The most of the causes are the disputes concerning back wages and personnel adjustment problems. And besides, there are the problems centering around the conclusion of labor agreements. Four cases occurred during this month, and three cases of which have accompanied with acts of disputes (general strike, sabotage) so that it may be noteworthy together with the anticipated Autumnal assault hereinafter.

Further, the dispute of Hitachi Seisakusho which called the public attention, we can not recognize any sign of uneasy atmosphere at Tochigi Plant, and this the dispute which continued for the period of 3 months have now settled peacefully.

(4) Activities in the field of labor education: degree of progress of Ministry of Labor's educational program: outline of successful procedures developed by the Trade Union and by Labor Education Sub-Section:

(1) Activities in the fields of Labor Education:

The prefectural authorities sponsored a Labor education course in Oyama area for three days from 24 July to 26 July towards the union members and the unorganized laborers. About sixty men including some employers attended the course, who eagerly made the questions, which made an effective influence on the labor education fields. We also exercised workshop labor education at Tanuma Plant of Fuji Industrial Company on 22 July and at Kuzuu Lime Industry Plant. At the time we exercised labor education at Tanuma Plant, they were in the struggle of the problem of enterprise conversion, the labor and management having each different opinions, so we thought this workshop education was a very significant one, receiving the union members' serious attention and question and giving "middle of the way" and practical suggestions for the labor movements.

To say of the visual education, we held a moving-picture meeting for Oya Stone Quarry Labor Union on 11th August, which, we think was a very effective labor education to have given both instruction and amusement to the laborers who have very few chances for amusement.

The summer time labor university course, the biggest event of this year was held at Utsunomiya Girl's High School for four days beginning the 1st August, which about 80 persons attended every day despite of the hot weather. The success of the course from the beginning through the end of it is considered to be due to that the general organized laborers' recognition of the importance of the labor education has been raised.

In succession to this labor course, Labor Unions Athletic meeting was held at Pref. General Stadium for both days of 8th and 9th August, where the unions participated in 3 kinds of matches, baseball, table-tennis and volley-ball.

(ii) Progress of labor educational program:

Pref. Labor Administration Section and the Labor Administration Offices are successively engaged in the acceleration and guidance for the labor contract conclusion, at each district and at each workshop, on the policies established. In keeping pace with this, the visual education activities have met with their good season, and we are engaged in planning the program for educational moving picture show for both of the laborers and the employers. Together with the moving picture show, "Animal Farms" offered by KCAR are distributed to the main workshops and we are awaiting for its effect to come up.

We are planning to hold Labor Union Performance Meeting on 9th September, Labor Arts Exhibition for 3 days from 10th September and Labor Exhibition with the data offered by Labor Ministry for a week beginning on 1st October at cities of Utsunomiya and Ashikaga.

(iii) Successful procedures developed by the Trade Union and by Labor Education Sub-section:

- A. Tochigi Pref. Labor Bulletin, August number, gave an analytic comment on the opinions of the labor and the management that were expressed at a Labor and Management Friendly-talks held at 3 places, namely Ashikaga, Sano, and Utsunomiya.
The comment also practically cleared the problems in execution of the contracts and gave a guide for the labor and the management.
- B. In reply to the request of the labor unions, the same Bulletin showed an outlined and systematic explanation of the labor concerned organ's jurisdiction so that the relation between the governmental organs and the unions may be closer.
- C. We utilized NHK's Prefectural Citizens Hour for broadcasting about the conclusion of labor contract and the democratic election of the union officers. On the other hand, Labor Bulletin showed the same matters as broadcasted as above, for the education and enlightening of the laborers.

(iv) Showing status of the "Animal Farm"

- A. During this month, we had a few chances for showing this paper-picture show, for there were Athletic Meeting and other event that needed the attendance of all workers. The sponsors' and the audience's opinion at the places where the "Animal Farm" was shown was: It looks like a mere cartoon picture-show, but it, in its explanation, gives the laborers the best informations for achievement and management of the democratic labor union, and also high intelligences. Thus, a good many people have favorable opinion about it.

- B. The Labor Administration Offices have shown the "Animal Farm" for ten times and about 350 persons have attended. Opinion of the Labor Administration Offices is: The "Animal Farm" may be taken for a mere cartoon picture, but it is, from its contents, one of the most effective visual education materials in the field of education for the democratic union management.
- C. The labor unions have shown the "Animal Farm" for 5 times and 200 laborers attended the show. The generalised opinion gathered on this show was:
- "The Animal Farm" showed the best effect for democratic management of the unions, having the quite different characteristics from other paper-picture shows now on publication. We would like to utilize any opportunity as meeting or event of union, to show it to the workers for advancement of the members and also to show it to other union's members.

(5) Trend in collective bargaining:

- A. Ashio Copper Mine Labor Union have held their management conference for several times with regard to the personnel dismissal to be enforced as a means involved in the company's enterprise reconstruction programme. It is supposed that they will commence bargaining toward the end of this month with the bargaining committeemen that they will select among them. They have not shown remarkable unrest at their management conference.
- B. Tochigi Seisen (Dyeing) Labor Union and Nippon Rubber Company Ashikaga Plant Labor Union are conducting collective bargaining for conclusion of the labor contract. They are keeping calm attitude on both sides of labor and management.

(6) Degree of success in establishment of grievance machinery, seniority clauses, research and planning committees.

A. We are now extending the campaign for encouragement of concluding labor contract. At present in this prefecture, there are almost no labor unions which established such clauses in their labor contracts, except Utsunomiya Vehicle Branch of Tochigi Chapter, All Japan Metal Industry Labor Union which established the grievance machinery clause in the labor contract newly established, and how the grievance machinery goes on is the question of the future.

(7) Employment and unemployment status; status of collection of unemployment insurance.

(A) Employment and unemployment status (Figures for daily laborers show man-days).

| | No. of job seekers | | | No. of workers wanted | | | No. of workers | |
|----------------------------|--------------------|--------|--------|-----------------------|--------|--------|----------------|--------|
| | Total | Male | Female | Total | Male | Female | Total | Male |
| Permanent employees | 4,519 | 2,616 | 1,903 | 1,312 | 649 | 663 | 833 | |
| Daily or temporary workers | 85,100 | 68,267 | 16,833 | 44,945 | 35,504 | 9,441 | 43,829 | 35,911 |
| Total | 89,619 | 70,883 | 18,736 | 46,259 | 36,153 | 10,104 | 44,666 | 35,911 |

Remarks:

- (1) Permanent laborers who are granted unemployment insurance benefit amount to 3,917 (Male 2,735, Female 1,182). This shows the increase of 55 recipients as compared with the previous month.
- (2) Those who lost their eligibility to receive the unemployment insurance benefit but are still seeking for job amount to 8141 (Male 587, Female 227). This shows the decrease of 159 as compared with the previous month.
- (3) Those who have been receiving unemployment insurance benefit over three months but are still seeking for job amount to 1,744 (Male 1,240, Female 504). This shows the decrease of 98 as compared with the previous month.
- (4) Permanent employees who are out of the application of unemployment insurance and are jobless over one month amount to 2,184 (Male 1,224, Female 960). This shows the increase of 25 as compared with the previous month.
- (5) The number of workers who could be employed consecutively for ten days a month or who could be employed less than eleven days a month

grievance machinery,
committees.

For encouragement of concluding labor
contracts, there are almost no labor
contracts in their labor contracts,
Shiga Chapter, All Japan
established the grievance
newly established, and how
question of the future.

status of collection of un-

(Figures for daily

| No. of workers wanted | | | No. of workers employed | | | No. of jobless | | |
|-----------------------|--------|--|-------------------------|--------|--------|----------------|--------|--------|
| Male | Female | | Total | Male | Female | Total | Male | Female |
| 649 | 663 | | 833 | 418 | 415 | 3,686 | 2,198 | 1,488 |
| 35,504 | 9,441 | | 43,829 | 35,507 | 8,322 | 41,271 | 32,760 | 8,511 |
| 36,153 | 10,104 | | 44,666 | 35,925 | 8,737 | 44,957 | 34,958 | 9,999 |

employment insurance benefit

This shows the increase
in the number of unemployed workers
in the previous month.

As a result of the unemployment
benefit amount to 8141 (Male 587,
2265) as compared with the

amount of unemployment insurance benefit over
the amount to 1,744 (Male 1,240,
504) as compared with the

number of applications of unemployment
benefit amount to 2,184 (Male 1,224,
960) as compared with the

number of workers employed consecutively for ten
or more days a month

without succession is 3,774 (Male 3,125, Female 649). It shows the increase of 25 as compared with the previous month.

(6) The number of the jobless in the prefecture estimated through the information offices of PESO is 10,469.

(7) The attached paper shows the status of the "employment struggle."

(B) Status of collection of unemployment insurance fee.

(1) The undermentioned table shows the status of collection of unemployment insurance fee for this month. It shows the decrease of 0.063% in collection percentage as compared with the previous month. This is because the officials were busy with office work and could not make positive activities in collection of the fee.

(2) Out of 2,414, 1,253 workshops have paid their insurance fee for June within the designated date of payment. The amount of the insurance fee paid by them is ¥5,467,773. This shows the increase of 4.9% in number of workshops and the increase of 13.2% in amount of collection.

(3) In general unemployment insurance, the number of the recipients of the insurance benefit amounts to 4,077 and the amount of money paid to them is ¥11,078,285. It shows the increase of 88 in number of recipients and the decrease of ¥46,584 in amount of the benefit paid.

As for the daily laborer's unemployment insurance, the recipients of the insurance benefit amount to 595 and the amount of the benefit paid to them is ¥615,140. It shows the decrease of 5 in number of the recipients and the increase of ¥12,430 in the amount of the benefit paid.

(4) Number of the workshops to which the insurance law was newly applied during the month is 42 which include insurraes amounting to 449. The number of the workshops which got out of the insurance during the month is 8 which included 41 insurraes.

Status of Collection of Unemployment Insurance Fee

| | <u>Determined assessment</u> | <u>Amount Collected</u> | <u>Amount not yet collected</u> | <u>% of collection</u> |
|-------------------|------------------------------|-------------------------|---------------------------------|------------------------|
| August | 7,754,985.00 | 7,286,410.00 | | |
| Cumulative amount | 175,426,562.31 | 167,622,930.37 | 7,803,631.94 | 95,557 % |

Note: The above cumulative amount means the total amount accumulated since the start of the business.

(8) Number and type of the cases brought up to the Local Labor Relations

| <u>Type</u> | <u>No. of cases</u> | <u>Name of case</u> | <u>Items in trouble</u> | <u>Date disposed</u> |
|----------------------|---------------------|---|---|---|
| Conciliation | 5 | Dispute at Chuo Truck Co. Ichinosawa Plant | Retirement allowance and wage in arrearage | 16 August |
| | | Dispute at Tochigi Oil & Fat Co. | Wage in arrearage, personnel slash and conclusion of labor contract | Withdrawn on 20 July |
| | | " | Opposition to dismissal | Applied on 31 July. Made 1st conciliation on 7 August |
| | | Dispute at Ichigen Kagaku K.K. | " | Applied on 5 August. Checked on 11 August |
| | | Dispute at Okura Steel Mfg. Co. | Revision of labor contract and opposition to personnel slash | Automomously settled on 20 August |
| Mediation | 1 | Dispute at Nakayama Lime K.K. | Revision of labor contract | Hold 9th mediation committee meeting on 10 August |
| Illegal act on labor | 2 | Illegal act on labor at Utsunomiya Municipal Office | Restoration to original status | 2nd questioning on 26 July. 3rd questioning on 8 August |
| | | Illegal act on labor at Nikko Daily Laborer's Union | " | 1st questioning on 7 August. Settled on 12 August |
| Eligibility probing | 2 | Tochigi Oil & Fat Co. Employees Union | For procedures of readjustment | Meeting public benefit committee |
| | | Ichigen Kagaku K.K. Labor Union | " | |

the cases brought up to the Local Labor Relations Committee.

| | <u>Items in trouble</u> | <u>Date disposed</u> | <u>Result</u> |
|--------------------|---|--|--|
| uck nt | Retirement allowance and wage in arrearage | 16 August | To pay ¥61,000 as a part of the wage in arrearage |
| Oil | Wage in arrearage, personnel slash and conclusion of labor contract | Withdrew on 20 July | Withdrew the application for conciliation in order to make negotiation with the newly appointed directors. |
| | Opposition to dismissal | Applied on 31 July. Made 1st conciliation on 7 August | We shall manage the affairs so that we shall be able to solve the problem of wage in arrearage at the next conciliation. |
| | " | Applied on 5 August. Checked on 11 August | |
| Steel | Revision of labor contract and opposition to personnel slash | Autonomously settled on 20 August | Those who desire retirement exceeded the proposed number of those to be dismissed. |
| ama | Revision of labor contract | Hold 9th mediation committee meeting on 10 August | Discussed about the answers of the both parties and failed to reach settlement on 19 July. |
| labor municipal | Restoration to original status | 2nd questioning on 26 July. 3rd questioning on 8 August | |
| labor at rer's | " | 1st questioning on 7 August. Settled on 12 August | To give the chance for employment under the condition of complying with the working regulation. |
| t Co. | For procedures of readjustment | Meeting of public benefit committee-men | Determined to be eligible. |
| K.K. | " | | |

1. P.C.P.
2. Murakami
3. file

TOCHIGI PREFECTURAL GOVERNMENT
Utsunomiya City, Tochigi prefecture.

W & M
F 47

Ref. No. 974
22 August 1950

SUBJECT: Monthly Report on Activities of Tochigi Office,
Women & Minors Bureau

TO : Chief,
Headquarters Kanto Civil Affairs Region,
APO 201
(Attention: Labor Relation Division,
Economic Section)

As we have received the information on the above
subject, from Tochigi Office of Women & Minors Bureau we
beg to enclose herewith the report for the month of August,
1950.

Jukichi Kodaira
700
JUKICHI KODAIRA
Governor,
Tochigi Prefecture

JK/Liaison Section/cy-ki

Received
K.L.C.O.
25.8.23
TIME / 0.25

Monthly Report on Activities of Tochigi Office,
Women & Minors Bureau

(From 21 July '50
(to 20 Aug. '50

For August, 1950
Tochigi Office,
Women & Minors
Bureau

杉本道夫

1. Activities with regard to research, publicity, educational program.

(1) Research on dormitories of visiting house-keepers and nurses sent out.

| <u>Name</u> | <u>Location</u> |
|---|---------------------------------|
| Yamaguchi-Ryo for visiting house-keepers | Demma-cho, Utsunomiya-shi |
| Oshima-Ryo for nurses sent out | Kiyosumi-cho, Utsunomiya-shi |

(2) Items researched.

- a. Name of dormitory
- b. Location
- c. Scale of dormitory and number of laborers lodged.
- d. Managing body of dormitories
- e. Laborers lodged
- f. Dormitory fee
- g. Whether there are autonomic organizations or not and outlines of management.
- h. Is there any labor union among the lodging laborers?
If any, what is the connection with autonomic organization?
- i. Connection with PESO
- j. Others

2. Matters concerning acceleration to fulfil righteous duties for women members in their union activities.

(1) Enforcement of acceleration movement for women's Union activities.

a. Held Women's Union Activities Acceleration Round-Table Conference.

| <u>Location</u> | <u>Date</u> | <u>Attendants</u> |
|--|-------------|-------------------------------------|
| Kanuma-shi Council-room, Teikoku Seima K.K. | 10 August | Union instructors 32, both sexes |
| Otawara-machi, Council-room, Labor Administration Office | 19 " | Union instructors 20, both sexes |
| Sano-shi, Council-room, Nisshin Seifun Plant | 20 " | Union instructors 25, both sexes |

b. Attendants

Male and female union instructors
from each district

c. Subject

1. Why the union activities of women are inactive?
2. On the method how to make women positively join the union activities.

d. Practice on paper-picture-show.

1. Otoki-san and the labor union.
2. Fine weather over the mountains.
3. Animal's farm.

(2) Encouraged each workshop and labor union so as to make women participate in Tochigi Pref. Summer Labor College Chair.

(3) Circulating guidance for acceleration of union activities.

a.

| <u>Name of union</u> | <u>Location</u> |
|------------------------------------|-------------------------|
| Tanuma Lumber Labor Union | Tanuma-machi, Aso-gun |
| Hino Vineer, Employees Labor Union | Kuroiso-machi, Nasu-gun |
| Maruko Seishi K.K. Labor Union | Ueno-mura, Aso-gun |

b. Method.

Toward women union members, utilizing each holiday or after working time.

1. Explanation of the principle of union.
2. On activities of women union members
3. Paper-picture-show: Otaki-san and Labor Union

3. Other matters concerned.

(1) Attended the local labor affairs hearing meeting of the committeemen of the House of Representative Labor Committee.

- a. Date: 22 August '50, at 14:00
- b. Place: Director's room,
Labor Department, Tochigi Pref.
- c. Attendants: Detached Agencies of Labor Ministry.

1- Rosei
g-file

TOCHIGI PREFECTURAL GOVERNMENT

Utsunomiya City, Tochigi prefecture.

Ref. No. 990
25 August 1950

SUBJECT: Monthly Report of Labor Dispute.
(for August 1950)

TO : Chief,
Headquarters Kanto Civil Affairs Region,
APO 201
(Attention: Labor Relations Division, Economic Section)

榜
市
道
政
局
労
務
課
長
官
宛

Submitted herein enclosed is on the above subject.

Inclosure: 1

JK/Rosei-ka/tt-hk

Jok
Jukichi Kodaira
JUKICHI KODAIRA
Governor,
Tochigi Prefecture

Received
K.L.O.O.
25. 8. 28
TLME